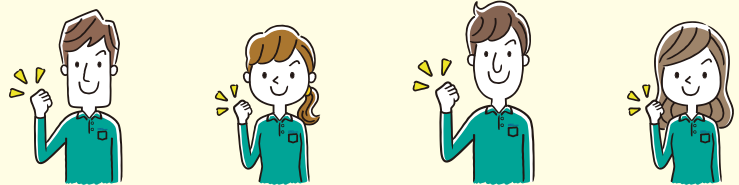


地域福祉コーディネーター  
生活支援コーディネーター  
令和3年度活動報告書

activity report  
2021



気づく・動く・つながる  
みんなが主役！  
地域で支えあうまちづくり

府中市社会福祉協議会



## はじめに

国では、平成30年度からの改正社会福祉法の施行後、地域共生社会を構築する為、さまざまな議論が尽くされ、令和3年度に包括的な支援体制の構築に関する規定改正が行われる中、「重層的支援体制整備事業」が創設されました。また、高齢、障害、子ども、生活困窮の節度ごとに分かれている相談支援などの関連事業について一体的に行われるような財政支援に切り替えるなど、さらなる横断的な相談体制の整備が急務となっています。

こうした中、府中市社会福祉協議会(以下、「府中市社協」という)では、第3次地域福祉活動計画(平成27年度から令和2年度までの計画)において、2つの重点目標である①わがまち支えあい協議会の設置②地域福祉コーディネーターの配置を市内11か所ある文化センター圏域ごとに推進し、実現することができました。

現在は第4次地域福祉活動計画を推進中で、重点目標である「わがまち支えあい協

議会」の推進を達成するため、令和3年度から11の福祉圏域すべてで本格稼働がはじまり、地域住民や関係団体職員の皆さんといっしょに取り組んできました。また、平成28年度から取り組んできた、地域住民のすべての方を対象とした相談窓口である暮らしの「困りごと相談会」は、令和3年度には、すべての文化センター圏域で実施するとともに、可能な圏域から実施回数を拡大しました。

今回の報告書は、令和3年度の地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターの歩みを中心にまとめたものです。

今後とも、現在推進中の第4次地域福祉活動計画、地域共生社会の実現へ向け、役職員一丸となり取り組んでまいりますので、関係者の皆様方の特段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会  
会長 伊藤 敏春



ふわり

社協マスコットキャラクター

# 目次



## はじめに

### コーディネーターとは

地域福祉コーディネーター	1
生活支援コーディネーター	
コーディネーターの配置状況	
圏域マップ	2
令和3年度コーディネーター相談対応件数	3

### 事例紹介

支援事例①	5
支援事例②	7
支援事例③	9
支援事例④	11

### わがまち支えあい協議会

わがまち支えあい協議会とは	13
わがまちの具体的な取り組み	15
わがまち活動紹介① ささえあい四谷	17
わがまち活動紹介②	18
わがまちありすの会(紅葉丘圏域)・ ささえあいの会(白糸台圏域)	
わがまち活動紹介③ わがまちありすの会	19

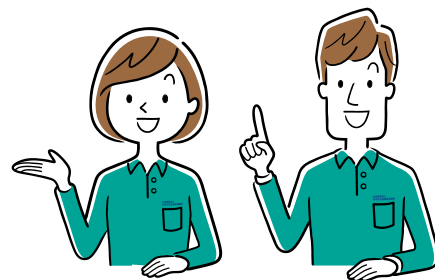
## 市内全域での取り組み

わがまちタウンミーティング	21
わがまち支えあい協議会 エリア連絡会	22
困りごと相談会	23
地域なんでも相談員	24
地域のボランティア活動	25

## 資料編

コーディネーター活動実績(個別支援)	27
実相談者数	28
相談者分類	29
相談内容分類	30
コーディネーター活動実績(地域支援)	31
コーディネーターが行った地域支援(わがまち支えあい協議会)	32
地域支援を行った団体	35
生活支援コーディネーター(1層)	
地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター(2層)	
助成金交付件数	36
出張ボランティア実施回数	
困りごと相談会対応件数	37
外部会議等への出席状況	38
用語解説①	40
用語解説②	41

# コーディネーターとは





## コーディネーターとは

### 地域福祉コーディネーター

#### ～個別支援と地域支援、そして関係機関との横断的な連携～

制度の狭間にあるような困りごとを抱えている方の社会的孤立\*の解消を目的とした、一人ひとりに寄り添った支援（個別支援）や、地域住民が一人ひとりの困りごとを地域全体の課題として捉え、地域住民が連帯意識を持って活動を創り出す支援（地域支援）を行う役割を担っています。

### 生活支援コーディネーター

#### ～地域支援を推進するためのネットワークの構築と協議体の設置～

生活支援コーディネーターは、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という）に位置づけられた専門職で、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、住民同士の支えあいの取り組みや、生きがいづくり・自分らしく活躍できるための場づくりを進めていく役割を担っています。

第1層（市全域を対象にした資源開発や協議体の設置）と第2層（中学校圏域：人口20,000～30,000人程度を対象にした具体的な活動の創出）に分かれており、府中市においては、第1層を専従で1名、第2層については地域福祉コーディネーターの役割にもある地域住民同士の活動を支援する「地域支援」という共通の役割もあることから、地域福祉コーディネーターと兼務という形で配置しています。

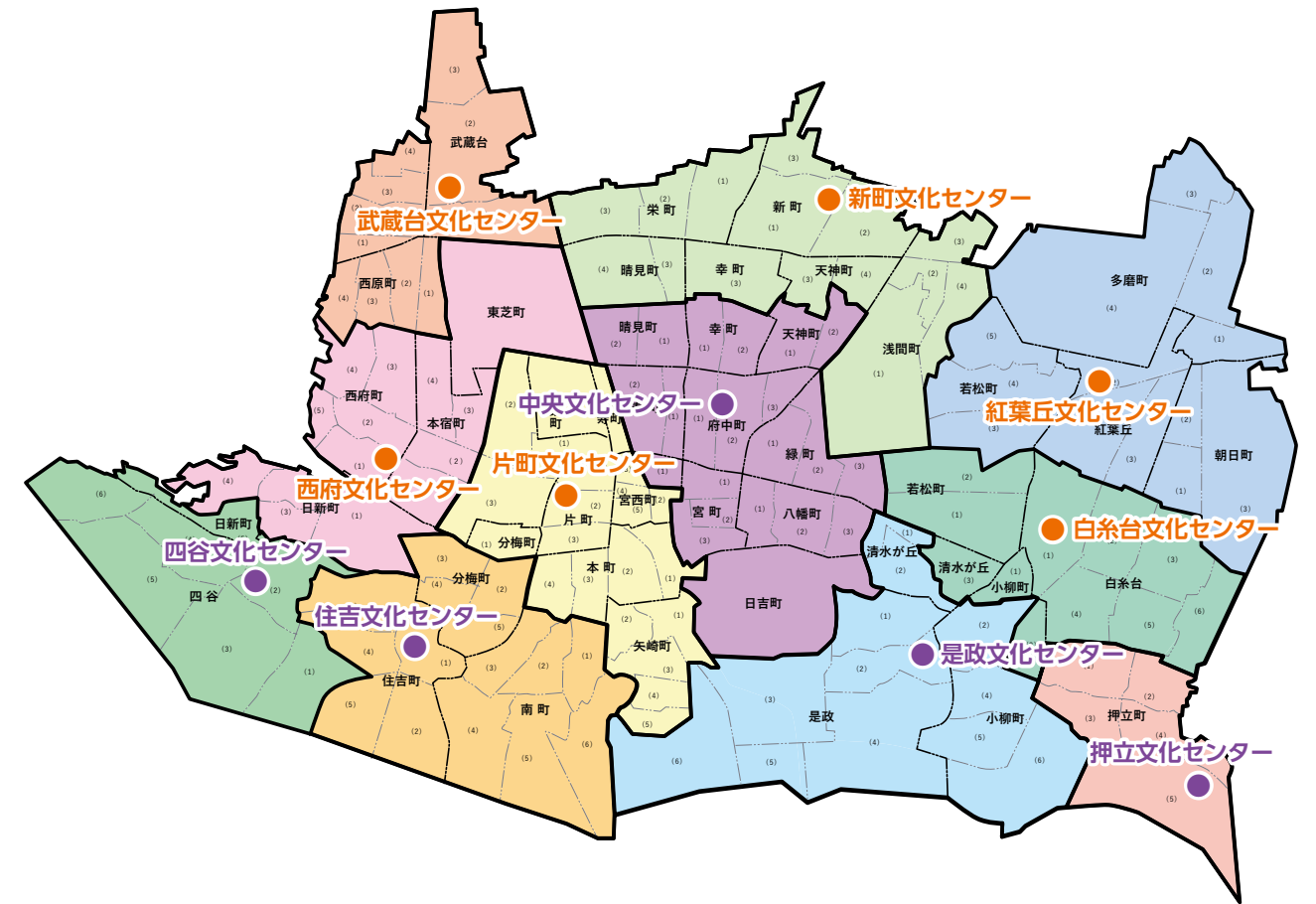
## コーディネーターの配置状況

地域福祉コーディネーターは、府中市社協が推進する第3次地域福祉活動計画\*（平成27年度～平成32年度）に基づき、11箇所の文化センター\*圏域を基にした福祉圏域（以下「〇〇文化センター圏域」という）全てにおいて、11名の地域福祉コーディネーターを配置することができました。

令和3年度から新たに開始した第4次地域福祉活動計画（令和3～8年）においては、更なる相談支援体制の強化を目指して、地域福祉コーディネーターの複数配置と、各文化センター内での相談拠点の配置を目標に掲げており、実現に向けて確実に事業を進めてまいります。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域福祉 コーディネーター	府中市からの委託による地域福祉コーディネーターの配置			
	押立文化センター圏域	押立文化センター圏域	押立文化センター圏域	押立文化センター圏域
	武蔵台文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域
	住吉文化センター圏域	住吉文化センター圏域	住吉文化センター圏域	住吉文化センター圏域
	紅葉丘文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域
		片町文化センター圏域	片町文化センター圏域	片町文化センター圏域
		新町文化センター圏域	新町文化センター圏域	新町文化センター圏域
			白糸台文化センター圏域	白糸台文化センター圏域
			是政文化センター圏域	是政文化センター圏域
			中央文化センター圏域	中央文化センター圏域
			西府文化センター圏域	西府文化センター圏域
			四谷文化センター圏域	四谷文化センター圏域
生活支援 コーディネーター	府中市からの委託による生活支援コーディネーターの配置			
	第1層1名 第2層4名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層6名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層6名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層11名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)

## 圏域MAP



### 該当エリアの詳細

圏域	該当エリア
紅葉丘	朝日町、多磨町、紅葉丘、若松町3～5丁目
白糸台	小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、白糸台(車返団地を除く)、若松町1・2丁目
押立	押立町・白糸台(車返団地のみ)
是政	小柳町2・4～6丁目、是政、清水が丘1・2丁目
新町	幸町3丁目、栄町、新町、浅間町、天神町3・4丁目、晴見町3・4丁目
中央	八幡町、日吉町、宮町、寿町1・2丁目、府中町、天神町1・2丁目、宮西町1丁目、幸町1・2丁目、緑町、晴見町1・2丁目
片町	片町、寿町3丁目、日鋼町、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、矢崎町、美好町(3丁目の一部を除く)
武蔵台	北山町、西原町、武蔵台
西府	東芝町、西府町、日新町1～4丁目、本宿町、美好町(3丁目の一部)
住吉	住吉町、分梅町2～5丁目、南町
四谷	日新町5丁目、四谷



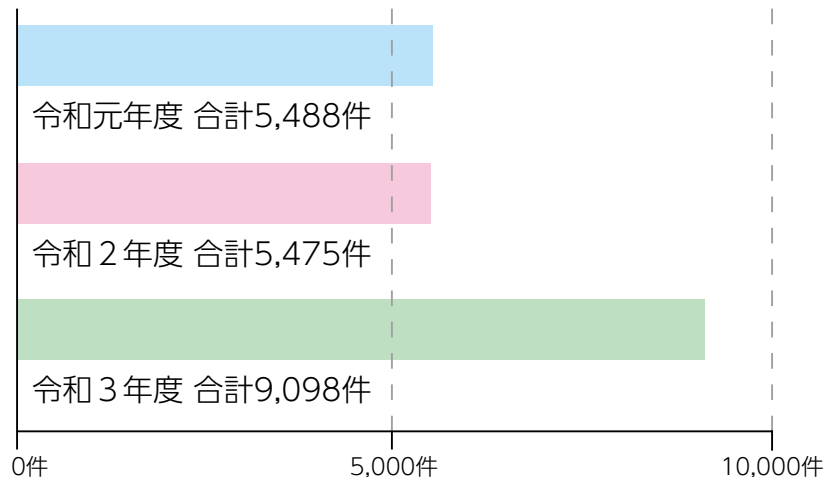
## 令和3年度 コーディネーター相談対応件数

### ① 個別支援 延べ対応件数

※内訳は27ページ参照

相談経路				相談内容		
訪問	電話	メール	来所	関係形成*	個別支援	連絡調整*
1,642	4,616	1,177	1,663	568	6,300	2,624
合計 9,098 件				※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加		

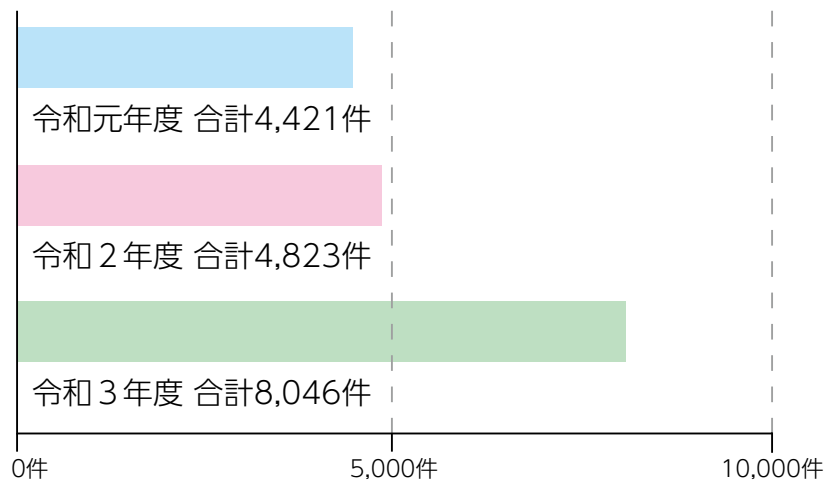
#### 個別支援対応件数の推移



### ② 地域支援 延べ対応件数

相談経路				相談内容			
訪問	電話	メール	来所	関係形成	立上支援	運営支援*	連絡調整
1,918	2,276	3,221	631	159	120	5,342	2,765
合計 8,046 件				※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加			

#### 地域支援対応件数の推移



※圏域ごとの相談対応件数や、相談内容の分類、その他の実績は 資料ページ (27 ページ、31 ページ) 参照

## 事例紹介



## 支援事例 ①：個別支援から地域支援

### 視覚障害のある方の支援を通じて、地域が障害について学ぶ機会を得る

#### 1.きっかけ

「一緒に歩いてくれるボランティアを紹介してほしい」と、本人よりボランティアセンター\*が依頼の連絡を受ける。ガイドヘルプ\*を頼むほどではなく、「近所の散歩に気軽に付きあってくれるような方がいれば」とのお話。コーディネーターから身近な地域での助けあいに向けて、地域のわがまち支えあい協議会（以下「わがまち」という13ページ参照）を紹介。ご本人がわがまちに参加し、相談を行うこととなった。

#### 2.支援の流れと成果（右図参照）

##### (1) ニーズ把握と他機関連携

ボランティアセンターからの話を受けて、コーディネーターがニーズ\*の聞き取りを行った。本人は幼少期の病気が原因で幼いころから視覚に障害があったが、鍼灸師の仕事がされたり視覚障害者の団体にも携わり出張講演がされたりと社会生活を営まれていた。外出では白杖を使用し、仕事や障害者団体の会議で都内に出かけることが多く、決まった道順であれば不自由なく出かけることが出来ていたが、身近な地域の中を歩いたことがないとのことであった。新型コロナウイルスが広まる中、鍼灸師の仕事が減らしたり、都内に出ることも控えることが多くなり、身近な地域で生活を送る中で「気軽に近所をお散歩するために、まずはどなたか地域の人に付きあってもらい、自宅周辺の土地勘を把握してみたい」との希望であった。また、「仕事を通じていろいろな方と知りあったり、障害者団体でつながったりはあるが、近所の人との顔見知りの関係はほとんどない」と身近な地域での人付き合いも始めたいとの希望があった。地域に暮らす視覚に障害がある方の困りごとの解決に向けてわがまちにニーズを投げかけ、まずは本人にわがまちの定例会にご参加いただくこととなった。

##### (2) わがまち 定例会への参加

定例会への参加に向けて資料のやりとりをコーディネーターが行った。当初は点訳\*ボランティ

アに資料の点訳を依頼していたが、その後本人より「データをメールで送ってもらおうと音声ガイドで把握できます。メモは自分で点訳し、必要な部分は自分から点訳ボランティアさんをお願いします」と提案もあり、本人の課題解決の力も随所に見られた。定例会でもご自身の考えを積極的に発言し、次第にわがまちの参加者とも親しくなり、「視覚障害について知りたい」と地域での勉強会を依頼されることとなった。

##### (3) 積極的に地域へ 知り合いが増え安心感を得る

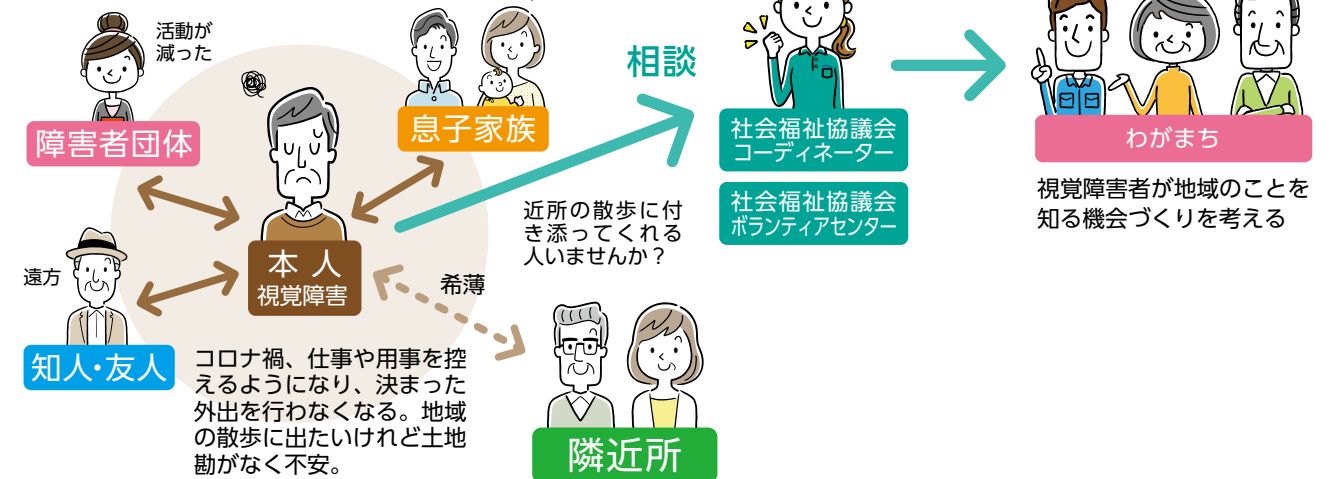
本人が障害者団体に寄せていた寄稿文が本としてまとまることとなり、わがまちのメンバーも本人について知る機会ができた。「視覚障害者の生活について」と題して地域での勉強会を行い、コーディネーターも本人と打合せをして画像資料を作成し、身近な視覚障害の方の生活を通じて地域の方へ障害を理解していただく機会となった。勉強会后、しばらくして、本人より「おかげさまで駅からの帰り道に声をかけられるようにもなりました。道に迷っても安心です」と地域の中で知り合いも増えているとの話を伺うことができた。

#### 3.今後に向けて

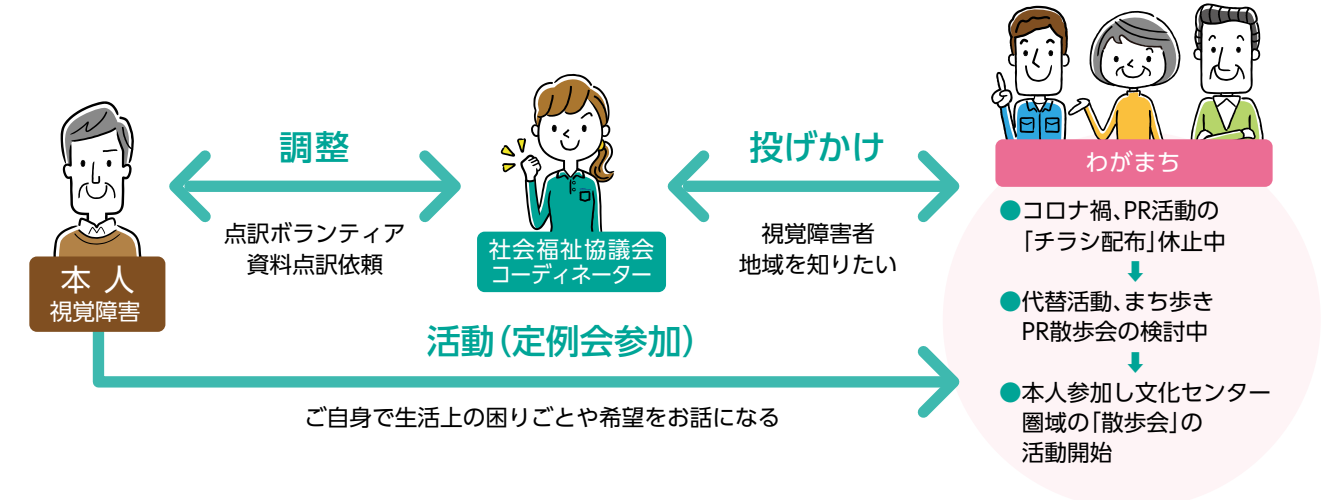
現在、わがまちでは「散歩会」を実施しており、文化センター圏域の各地域をくまなく歩き、地域に暮らす方々に声をかけコミュニケーションを図り、支えあいの輪を広げる活動を行っている。本人も毎回参加され、「だんだんと地理的なものが分かってきました」と当初の願いも叶っているとのことだった。困りごとを抱えた当事者の生活を知ることで、その問題が身近になり、支える側・支えられる側に分かれるのではなく、互いに役割を持ち、支えあいながら自分らしく生活を送ることが出来る地域づくりの一例となった。今後も地域と共に様々な困りごとに向きあっていきたい。

#### 2.支援の流れと成果

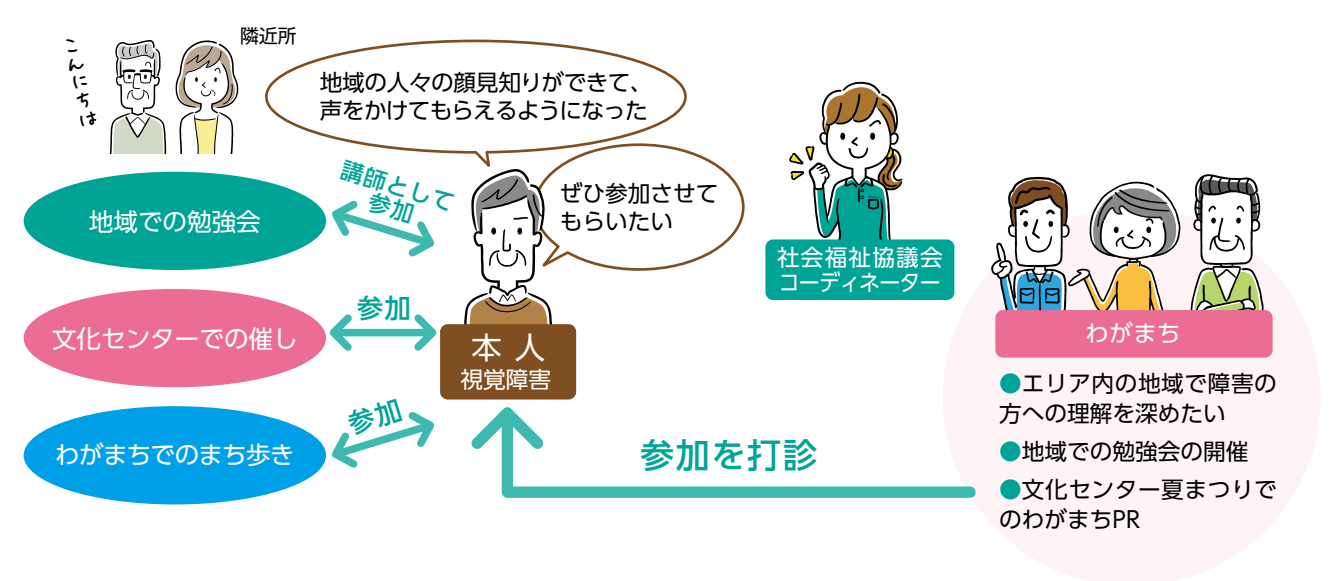
##### (1) ニーズ把握と地域への投げかけ



##### (2) わがまち支えあいの会に参加、散歩会の参加へ



##### (3) 積極的に地域へ、知り合いが増え安心感を得る





## 小学校への付き添い支援の積み重ねからわがまち活動の発展へ

### 1.概要

子ども家庭支援センター\*より、小学校までの付き添い支援の相談があった。小学校まで、今は母が送迎しているが、母も仕事があり、毎日の対応は大変になっていた。何か地域で、送迎のお手伝いなどできないかとのこと。登校の付き添いが必要な理由は、気が向かなくて一人では学校までたどり着けないとのこと。気持ちの後押しが必要であり、一緒にお話ししながら登校して、いつの間にか学校に着いているというのが理想だとの話であった。

### 2.支援の流れと成果 (右図参照)

#### (1)わがまちでの支援の検討

わがまち定例会にて課題を共有したところ、有志で支援していくことになった。当日、本人が出て来られなかった場合の母との連絡調整方法などの確認、支援者と母との連絡先の交換、また本人の普段の様子などを伺う。

その後、本人、母、支援者と一緒に学校までのルートを確認をした。支援当日はコーディネーターが初回のみ同行し、流れを確認した。その後は、支援者から毎回、報告をもらいコーディネーターは随時母への報告や、お休みなどの連絡調整を行った。

#### (2)自分で通えるようになり、支援は終結

支援者からは寂しいなどの声も聞かれたが、進級するにあたり学校が遠方になることから、「本人が一人で行く事ができれば一番良い」と関係者や母が判断し、支援は継続せず、終結となった。

#### (3)わがまち、生活支援活動への波及

この支援について、有志の協力者が活動してみたの感想や課題点などをわがまちにて共有し、意見交換などを重ねた。

このケースについての支援は終結したが、その後、同様の困りごとの相談があった際に、すぐに対応について意見交換が行われ、支援につながる等、わがまちで個別の困りごとに対応していくイメージが膨らみ、活動の体制整備のきっかけになった。

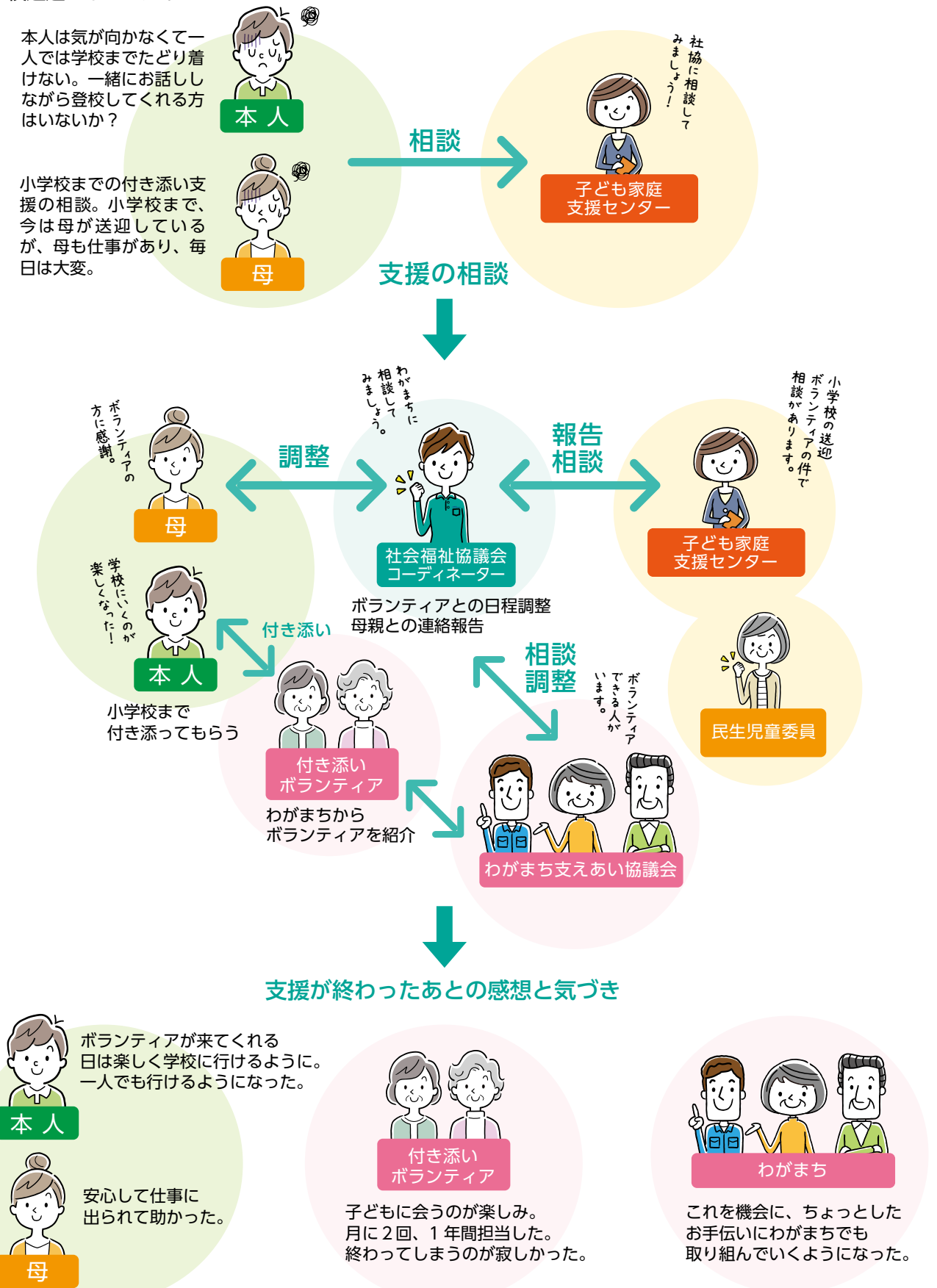
### 3.今後に向けて

子ども家庭支援センターから、地域住民に関わってほしいというケースの相談が増えている。今回のケースのように、制度では対応が難しい送迎の担い手として期待されることも多い。今回のケースは、本人との関わりを支援者も楽しみながら続けていただくことができた。これからも、支援者が負担にならず、やりがいを持って続けることができるよう、また、個別支援を通じて地域活動の芽となりうる可能性はないか、アンテナを張りながら支援していきたい。



### 2.支援の流れと成果

#### 小学校送迎のボランティア





## 地域住民や多機関との連携による若年性認知症の方への支援

### 1.きっかけ

「若年性認知症\*でも通える居場所はないですか？」と本人が隣人と一緒に社協へ問合せをされる。若年性認知症の診断からは約4か月が経っていたが、同居の母と既に関わりがあった地域包括支援センター\*から社協を紹介され問合せしたことを伺う。若年性認知症の当事者が通える居場所の紹介も含め、今後の生活について、本人の希望など訪問して伺うこととなり、コーディネーターとの関わりが始まる。

### 2.支援の流れと成果 (右図参照)

#### (1) ニーズ把握と専門支援機関へのつなぎと孤立しない地域とのつながり作り

初回訪問では、同居の母と隣人、本人から、若年性認知症の診断を受けるまでの経緯や、これまで仕事一筋だったため、住んでいる地域との関わりがなかったことなどを伺う。また、病気であっても「仕事をしたい」、「人の役に立つことをしたい」という強い希望も聞きとれた。今後の不安を口にすることは少なく、前向きにこれからの生活を考えていきたいという本人の人柄にも触れる機会となった。

公的な支援を受けるための各種手続き、就労支援相談等については、若年性認知症総合支援センター\*へのつなぎを行い、生活の安定、医療機関との連携調整、公的サービスが必要となった際の準備や、本人の病状や特性を活かせる就労について支援を行うこととなった。人の役に立ちたいという本人の希望には、わがまちでの地域活動・社協でのボランティア活動を提案、協力者説明会\*、定例会を経て信頼できる地域とのつながりを作る支援をしていくこととなった。

#### (2) 専門職による支援とわがまちへの参加、協力

若年性認知症総合支援センター職員が中心となり支援(今後の生活の安定、医療との連携、公的サービス利用準備など)を行うなかで見えてくる新たなニーズについては、都度情報共有を図り、本人との話し合いを経て支援を行った。地域活動

への参加については、本人、または、コーディネーターから病気について周囲に伝え、可能な範囲で「本人ができることをする」という理解を得て参加。継続した参加のなかで、本人が難しい部分は、周りの方がサポートする体制が自然とできていった。

#### (3) 本人らしく生活するためのフォーマルサービス\*とインフォーマルサービス\*

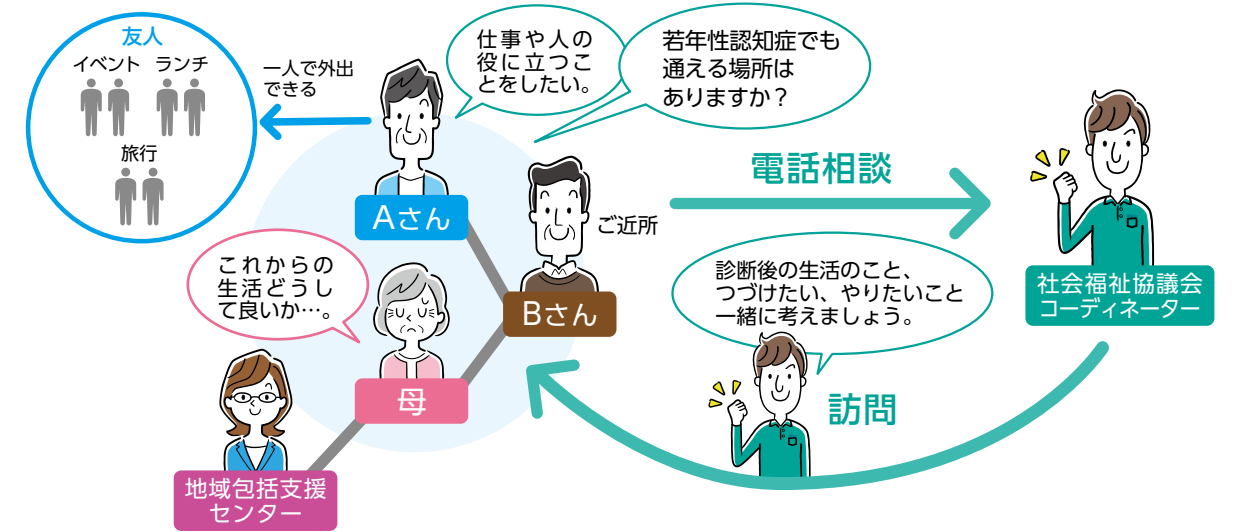
病気の進行とともに公的サービス利用の頻度が増え、関わる専門職も増えたが、本人が行える地域活動はできる限り継続する形で、公的サービスとの利用調整など情報共有を密にとることになった。また、本人が一人で来ることができる場所でもある「困りごと相談会\*」にはできる限り足を運んでもらい、コーディネーターや地域なんでも相談員\*が本人の生活状況の把握や家族との関係など、話を伺う機会を作っている。また、これまで楽しんで行っていたコンサート、友人とのランチ会なども介護ヘルパー等のサービスを利用しながら継続している。

### 3.今後に向けて

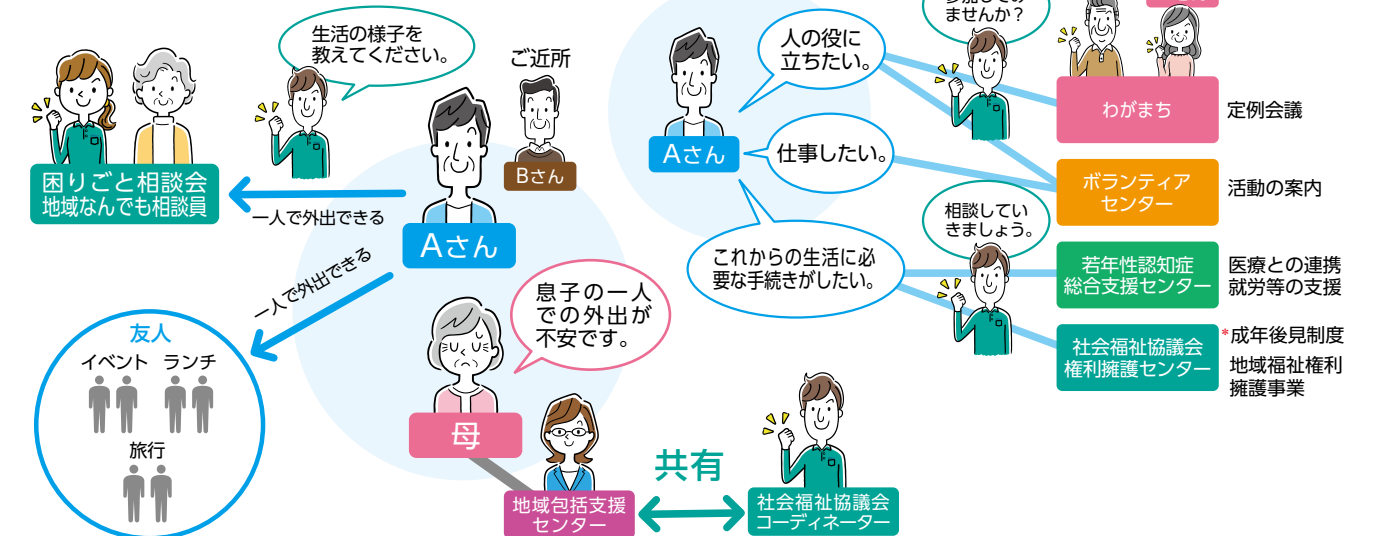
若年性認知症と診断された後、早い段階での関わりがスタートできたことで、本人の要望や家族、友人との関係を知ったうえで、専門職や地域住民、わがまちとの関係形成、地域活動への参加支援ができた。本人が「人のためにできること」を地域住民とともにやり、病気の進行に合わせたフォーマルサービスとインフォーマルサービスを利用することで充実した生活が可能となったと感じる。また、コーディネーターとして、わがまちが、地域のだれもが参加できる場として、今後も必要であり、様々な方々がお互いさまに支えあえる地域にしていきたいと思った。

### 2. 支援の流れと成果

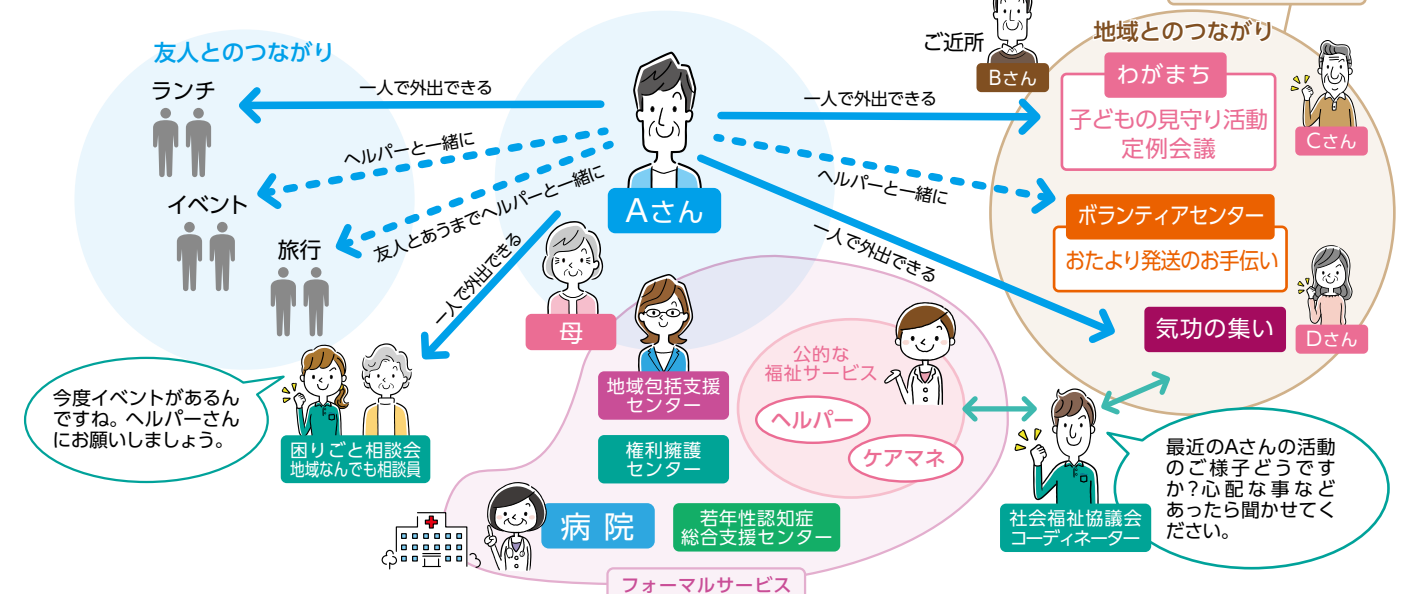
#### (1) ニーズ把握と専門支援機関へのつなぎと孤立しない地域とのつながり作り



#### (2) 専門職による支援とわがまちへの参加、協力



#### (3) 本人らしく生活するためのフォーマルとインフォーマルサービス



## 支援事例④：様々なきっかけから、支えあい活動の担い手につながった事例

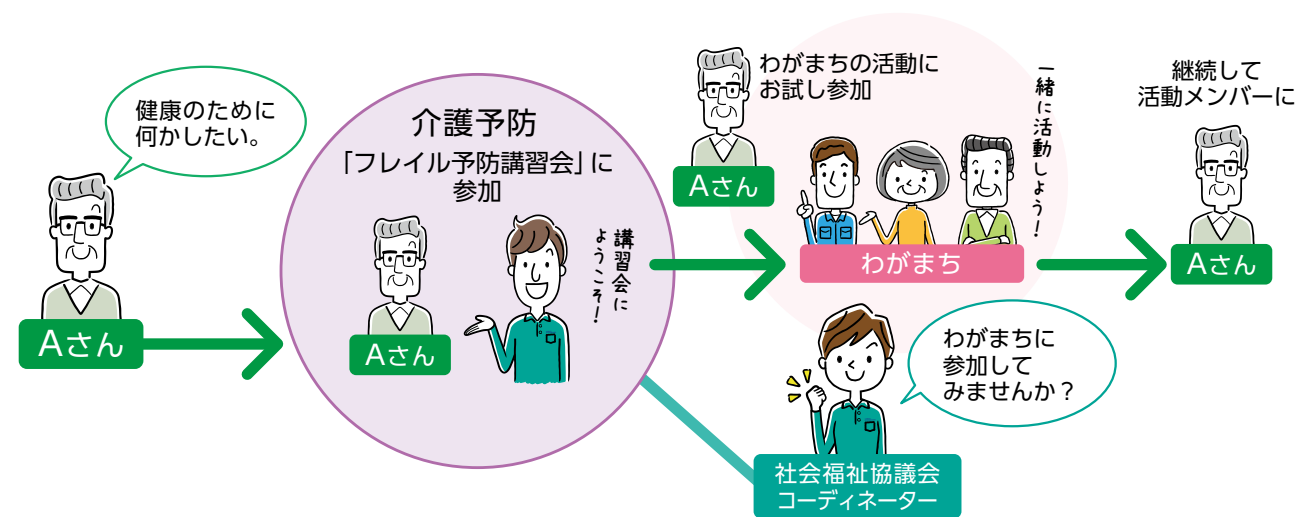
### ●事例1：フレイル予防講習会へ参加したAさん

Aさんは、地域包括支援センターが主催する「フレイル予防講習会\*」に参加。「社会参加」のプログラムの際に、コーディネーターから講習会出席者一人一人が参加できそうな地域活動について、ご本人の趣味や特技などを聞きながら、活動のご案内をした。

その中で、Aさんが「食」に関わる仕事をしており、またボランティア活動にも関心があること

がわかり、Aさんがお住いの地域に該当する活動があることをお知らせ。直近の活動についてご案内し、お試しで参加することになった。

その後、お仕事関係のロス食品\*を持参されたり、保管場所からフードパントリー（15ページ参照）会場への食品の運搬、仕分け作業、配達など、活動に毎回参加をしている。

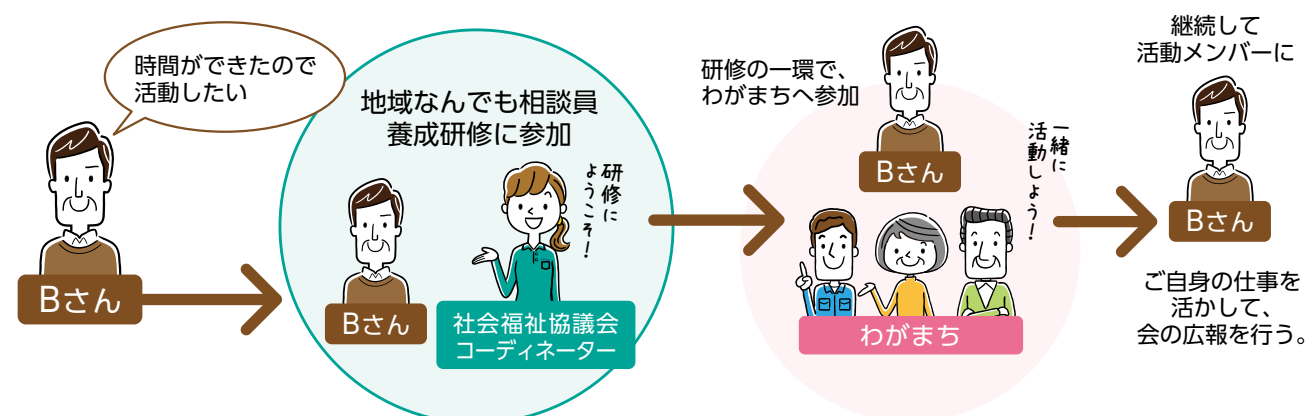


### ●事例2：地域なんでも相談員養成研修に参加したBさん

Bさんは、社協が主催した「地域なんでも相談員養成研修\*」に参加し、養成プログラムの一つであった、地域のわがまちへの参加がきっかけで、わがまちに継続して参加するようになった。

わがまちでは、得意なパソコン作業を活かして

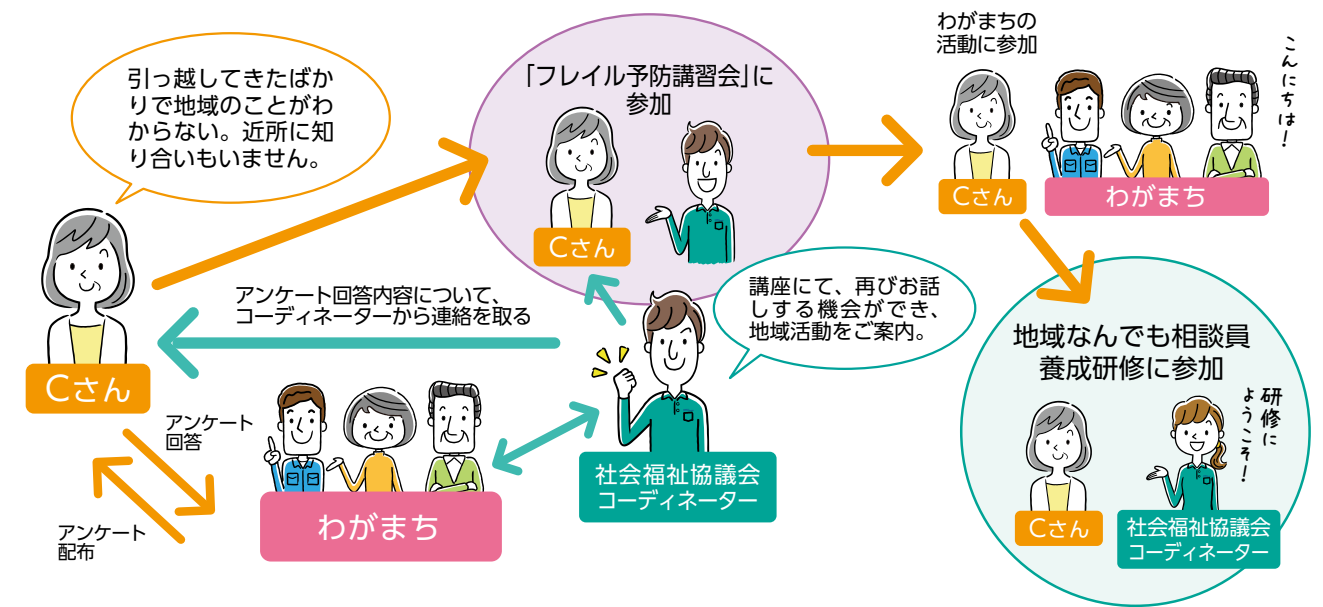
会計の帳簿管理を担当したり、ご自身のお仕事でもある地域の情報紙で、わがまちの活動を紹介するなど広報活動も担当。現在は会の役員として活躍している。



### ●事例3：地域アンケートに回答したことから、コーディネーターと連絡を取るようになったCさん

Cさんは、他市から府中市へ転入して間もない頃、自宅のポストに届いていた「わがまち 地域アンケート」に回答。「何かあったら手伝ってほしい」「地域のことを知りたい」等回答欄に記載があり、コーディネーターからご連絡。当初は新型コロナウイルスの感染への不安から、活動への

参加は叶わなかったが、数か月後に、Cさんが参加した「フレイル予防講習会」にてコーディネーターと再び話す機会があり、その後困りごと相談会やわがまちの話しあいへ参加し、現在も継続して会に参加している。



### コーディネーターの視点・気にかけている事

支えあい活動への参加のきっかけは様々です。「空いた時間を活用したい」「ボランティアをしたい」と自ら相談に来られる方もいれば、前述の介護予防教室など周りの方から活動参加を勧められたという方もいらっしゃいます。それぞれが無理なく、前向きに活動を続けられるよう、お一人お一人、活動内容や頻度などのご希望を伺いながら、活動につないでいます。また「何から始めたら良いかわからない」という方へは、選択肢を提示したり、ご本人の趣味や特技を伺いながら参加できそうな活動を一緒に検討するなど、はじめの一步を後押しできるよう心がけています。





# わがまち支えあい協議会

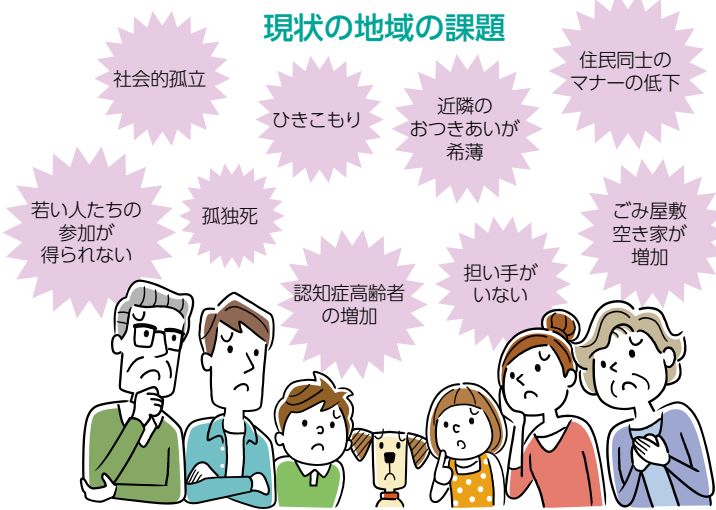
## わがまち支えあい協議会とは

### ●立上げを目指すに至った背景

平成26年度に小地域懇談会\*での話し合いや、アンケート等を実施し、地域のさまざまな困りごとがわかってきました。(右図)

その中には、公的な制度では解決が難しい困りごともありました。

誰もが安心して自分のまちで暮らすためには、こうした個人の困りごとを「我が事」として捉え、一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けたしくみづくりが必要です。



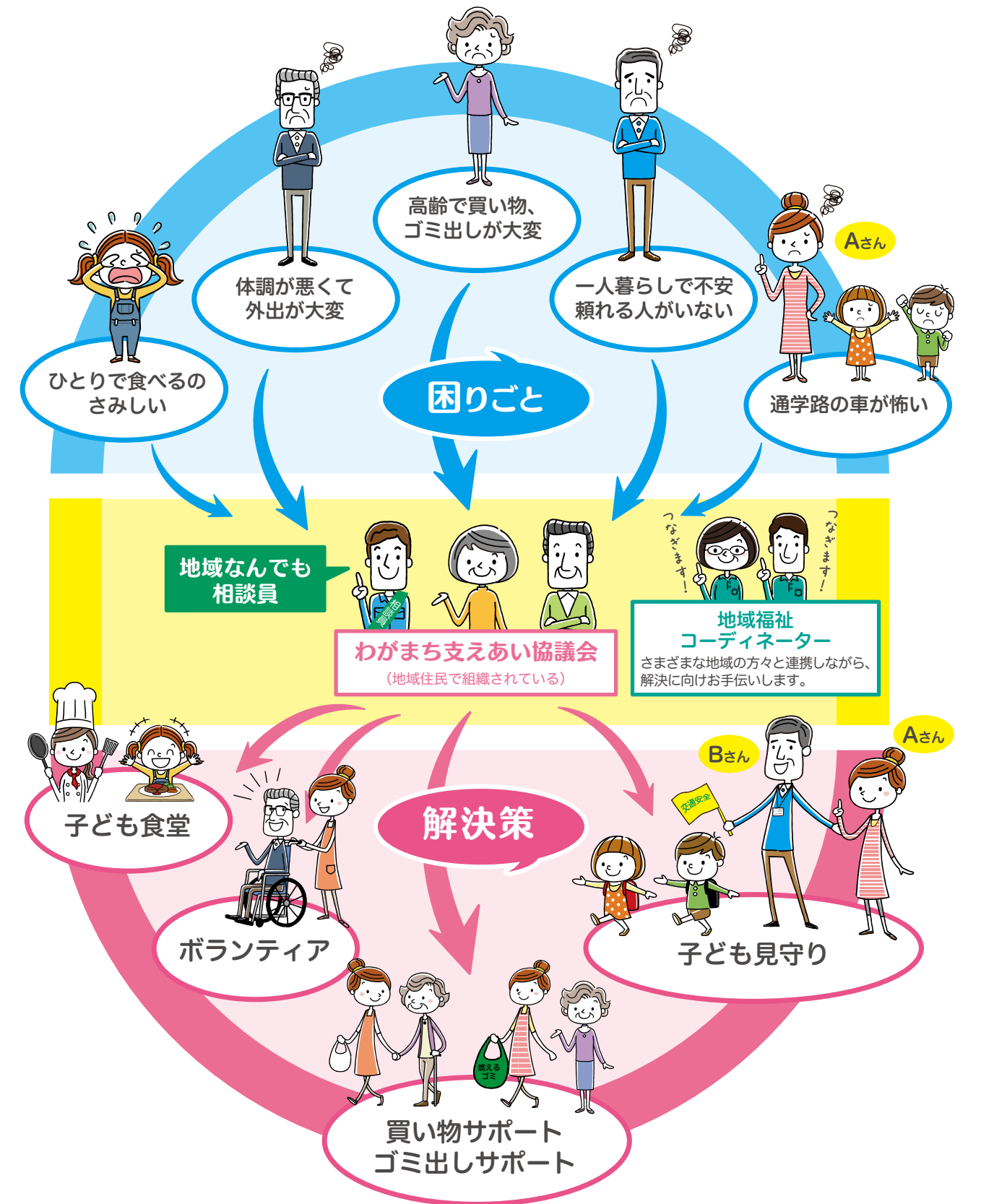
わがまち支えあい協議会とは、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、共有し、一緒に解決していくしくみです。

### ●文化センター圏域ごとの立上げ支援の経過

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
押立文化センター圏域 (車返団地含む) ※モデル地区	立上げ支援 平成28年4月設立			運営支援		
四谷文化センター圏域	立上げ支援		平成30年4月設立		運営支援	
住吉文化センター圏域	立上げ支援			平成31年4月設立		運営支援
中央文化センター圏域	立上げ支援				令和2年4月設立	運営支援
是政文化センター圏域	立上げ支援				令和2年6月設立	運営支援
紅葉丘文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援
白糸台文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援
新町文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援
片町文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援
武蔵台文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援
西府文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立 運営支援

## ●わがまち支えあい協議会のしくみ

より身近な生活圏域の中で、地域住民や地域の様々な団体が自らの「困りごと」に気づき、それを我が事として共有し、解決していくしくみです。



※各わがまちの活動については 次ページへ▶



# わがまちの具体的な取り組み（令和4年3月末時点）

## ①「食」を通じた取り組み

食べるものにお困りの方へ、フードドライブやフードパントリーなど、食の支援を行っています。フードドライブとは、ご家庭などで余っている食品の寄付を集める活動です。フードパントリーとは、食べるものにお困りの方へ食品をお届けする活動です。食を通してつながることを目的に活動しています。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央・片町・武蔵台・西府・住吉・四谷

## ②居場所・交流

高齢者も子どもも障害のある方も、どなたでも参加できる地域の居場所です。住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがいを持ち安心して暮らしていくための交流の場です。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央・片町・武蔵台・西府・住吉・四谷

## ③子どもの見守り

登校時や下校時、交通量の多い道などで旗を振り、子どもたちが安心して通行できるように見守りをしています。また、放課後の見守りや、学童クラブからの帰宅に同行するなど、地域で子どもたちを見守っている活動です。



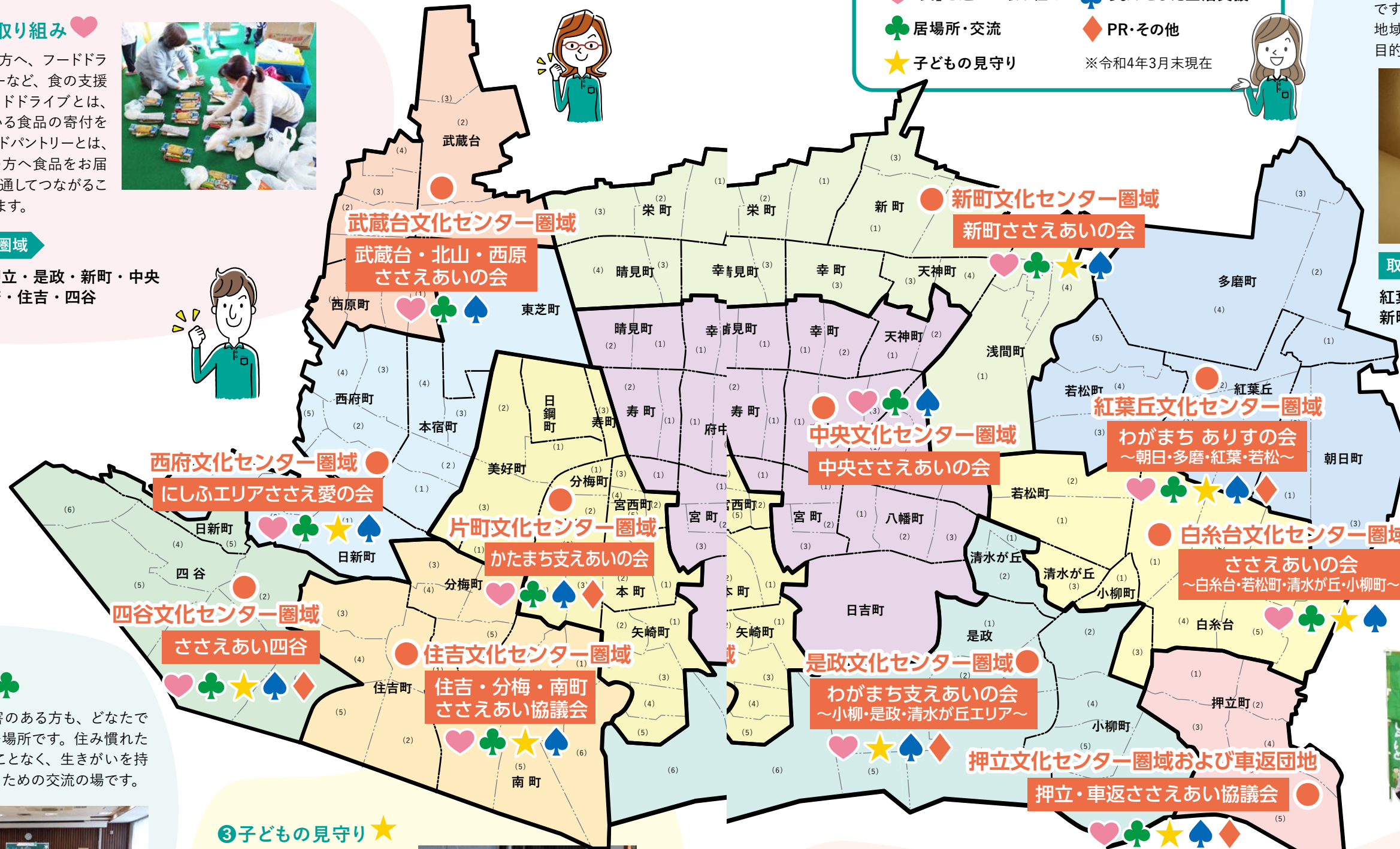
### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・西府・住吉・四谷

## 地図上にあるマークの説明

地図にあるマークは各文化センター圏域で行われている地域活動を表しています。ご参考になさってください。

- ♥ 「食」を通じた取り組み
  - ♠ ちょっとした生活支援
  - ♣ 居場所・交流
  - ♦ PR・その他
  - ★ 子どもの見守り
- ※令和4年3月末現在



## ④ちょっとした生活支援

電球交換やゴミ出しなど、公的サービスでは難しい、住民同士でできる30分程度のちょっとしたお手伝いです。活動を通して顔見知りになり、地域のつながりを作っていくことが目的です。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央・片町・武蔵台・西府・住吉・四谷



世代を超えて顔見知りになり、活動していきます！



## ⑤PR

地域活動をより多くの方に知っていただくためにチラシを配布するPR活動をしています。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・是政・片町・四谷

## ⑥その他

住んでいる地域を知る、参加者の交流のためにまち歩き、子どもたちと花壇にお花を植える子どもボランティア体験を行っています。また、新型コロナウイルスワクチンの予約のお手伝いもしました。



### 取り組みをしている圏域

是政・押立・四谷



## わがまち活動紹介 ① ささえあい四谷

### わがまちと近隣施設の連携

#### ●困っていたこと

- ・コロナでサロン\*が開催できない。
- ・参加者とのつながりがなくなる。
- ・「ご近助会\*」の活動先がなくなる。



#### ●新たに生まれた活動・解決できた課題

- ・「ささえあい四谷だより」の発行。  
(毎月1回 サロン参加者及び地域の方約100名に送付)
- ・フードドライブの回収BOX設置。  
(施設6か所 毎月最終木曜日に回収)



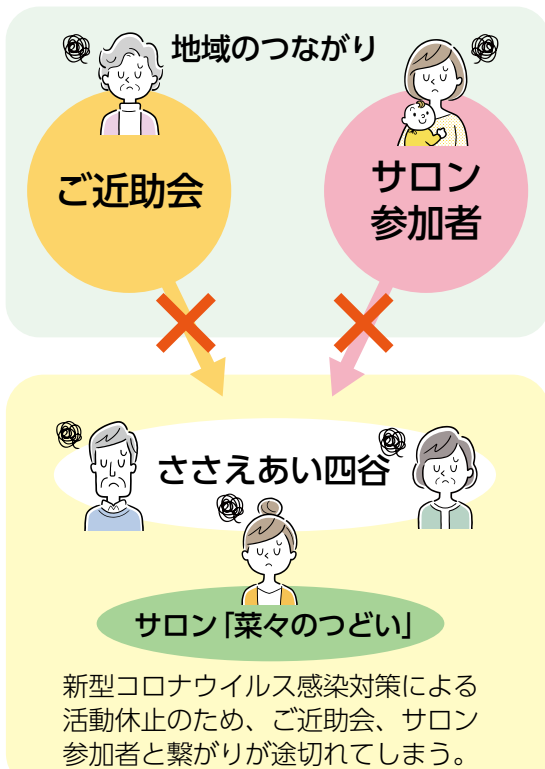
#### ●地域コーディネーターの動き

- ・わがまちにサロン参加者へお便りを出すことを提案。
- ・ご近助会にお便りに載せる記事を出してもらうように働きかけ。
- ・わがまちにサロンの参加者へのお便りだけでなく、会のPRをするため広報委員会をつくることを提案。お便りの発行につながった。
- ・ご近助会にフードドライブの回収BOXの設置を働きかけ。

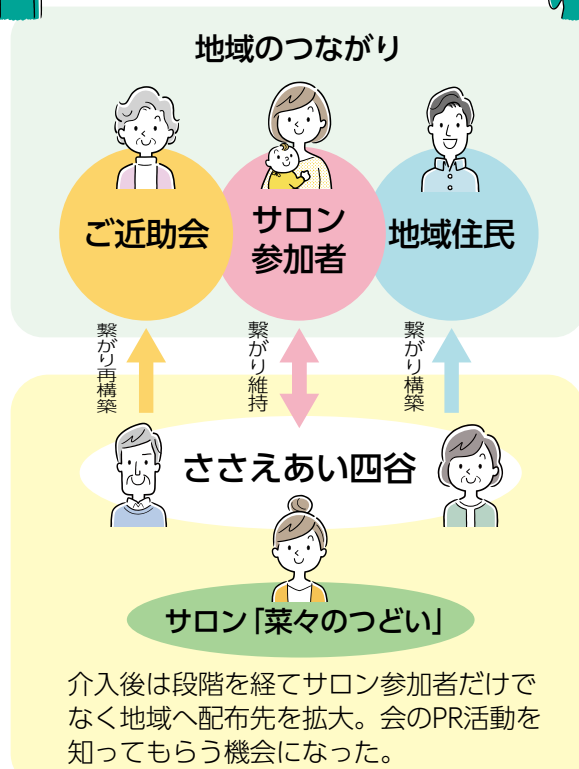


### コーディネーターが介入して活動支援

#### ●コーディネーターの介入前



#### ●コーディネーターの介入後



## わがまち活動紹介 ② わがまちありすの会 (紅葉丘圏域)・ささえあいの会 (白糸台圏域)

### 2つのわがまちが協力して活動を実施

#### ●困っていたこと

- ・わがまちから、コロナ禍でも活動できる機会を増やしたいとの意向があった。
- ・学校から登校時の見守りが欲しいという声があった。
- ・1つのわがまちでは担い手が不足していた。



#### ●新たに生まれた活動・解決できた課題

- ・担い手が増え、活動を継続することができた。
- ・活動を通して、ユニフォームや缶バッジの作成など、PR活動につながる動きが生まれた。

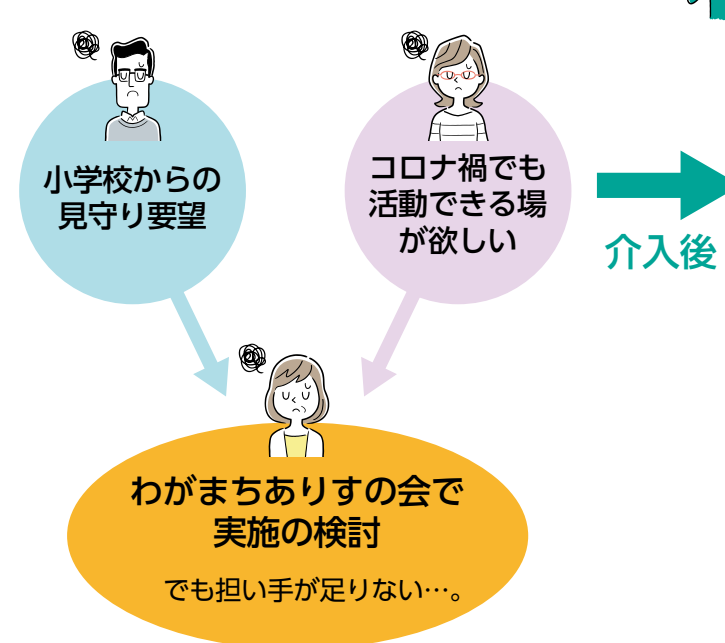


#### ●コーディネーターの動き

- ・小学校の所在地は紅葉丘文化センター圏域 学校側からの見守り希望の場所は白糸台文化センター圏域
- ➡ 2つのわがまち合同での活動を提案した。
- ・地域で活動したいという住民に個別に声をかけ、活動のマッチングを行った。

### コーディネーターが介入して活動支援

#### ●コーディネーターの介入前



#### ●コーディネーターの介入後



## わがまち活動紹介 ③ わがまちありすの会

### 東京オレンジ\*と協力してのPR活動

#### ●困っていたこと

- ・わがまちPR活動の担い手が少ない。
- ・東京オレンジからボランティア活動の機会を求めていると聞いた。



#### ●地域コーディネーターの動き

- ・東京オレンジへ「ボランティアとして、PR活動を一緒にやるのはどうか。」と提案。
- ➡「わがまちメンバーとの触れあいも、経験の一つになるのでぜひ参加したい」との返答。
- ➡わがまちへ提案。

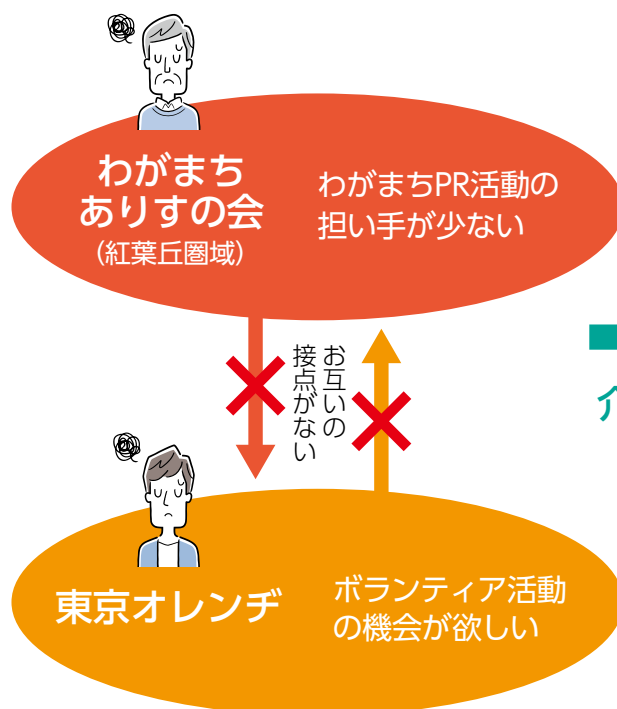
#### ●新たに生まれた活動・解決できた課題

- ・わがまちでのPR活動を東京オレンジの活動日程にあわせて定例化。
- ・わがまちで作成したベストを着るのを楽しみにしているメンバーがいる。
- ・生きづらさを抱えている方がいることをわがまちメンバーが知る機会になった。

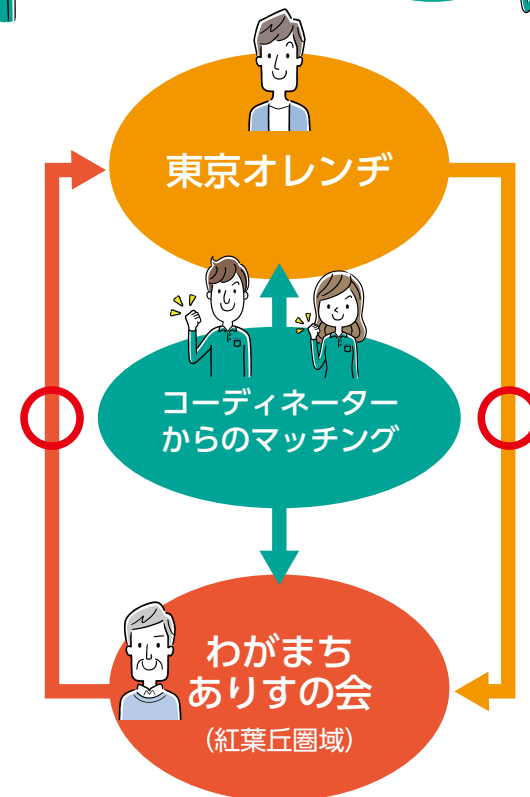


### コーディネーターが介入して活動支援

#### ●コーディネーターの介入前



#### ●コーディネーターの介入後



## 市内全域での取り組み





## わがまちタウンミーティング

**概要説明** 住民同士の支えあいを推進するため、市内全域で情報の共有や、学習の機会、つながりの機会として年に2回開催している。

### 第1回 わがまちタウンミーティング

#### ●テーマ

「ほんの一步からはじまった地域とのつながり～わたしの場合～」  
(オンライン開催) 参加者：58名



#### ●目的・内容〈第4次地域福祉活動計画の概要説明と活動紹介〉

「第4次地域福祉活動計画」の内容説明と、実際に地域で活動している方へのインタビューを通して活動を始めたきっかけや想いを伺った。地域活動に参加していなかった住民が、地域の支えあいの取り組みを具体的にイメージすることができ、地域活動へ、一歩踏み出す後押しになることを目指す。

#### ●参加者の声と成果

- ・子どもが小さくて会場へ聞きには行けないけれど、オンラインで参加できてとても嬉しかった。
- ・活動している時間が合えば、是非参加したい。
- ・わがまちの取り組みや活動の良さを再確認した。
- ・地域活動のおかげで楽しみが増え、健康増進につながった。

〈成果〉わがまちとして、担い手を募集するPR活動につながった。



### 第2回 わがまちタウンミーティング

#### ●テーマ

「地域活動のヒント ～仲間づくり編～」(会場、オンラインのハイブリッド\*方式)  
参加者：54名

#### ●目的・内容〈活動事例紹介〉

地域活動をしている方々の共通の課題「新しい仲間探し」をテーマとし、活動を始めた方にインタビューし、活動に至ったきっかけや想いを伺った。新たな人が地域活動に参加するためのきっかけ作り、続けて参加してもらうにはどのようにしていけばよいのかを考える機会になることを目指す。

#### ●参加者の声と成果

- ・わがまちの和気あいあいとした雰囲気を感じる事ができた。
- ・歩いて行ける範囲内での顔の見える支えあい活動は、非常時のいざという時にも役立つ良い活動だと感じた。

〈成果〉わがまちに参加していない方から、「できることがあれば参加したい」とのお声をいただき、適宜地域情報の提供を行った。  
・わがまち側が、これから活動していく方を受け入れる体制づくり、意識できるきっかけになった。

▶令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面での実施が困難になった。コロナ禍でも、地域活動の普及啓発や活動へつながる後押しをする為、初めてオンライン開催を検討。オンライン開催をすることで、コロナ禍でもつながることができ、また会場へ来られない方にもご参加いただくことができた。

▶わがまちタウンミーティングは支えあいの取り組みを一人でも多くの市民にお伝えし、活動を地域へつなげていく目的がある。そのためにも現在の地域課題、地域住民が求めているものを考え、活動と人とを繋げる企画を検討していく必要がある。



## わがまち支えあい協議会 エリア連絡会

**概要説明** 市内11か所のわがまちが立ち上がったのを機に、わがまち同士のつながりづくりを目的に開催している。

### 東エリア連絡会

参加団体：わがまちありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～/ささえあいの会～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～/押立・車返ささえあい協議会/わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～

#### ●内容

参加者：12名(うち2名はオンライン参加)  
事前アンケートを元に、他のわがまちに聞きたいこと・課題に感じていること等について、情報共有や意見交換。

#### ●参加者の感想

- ・自分たちだけでは分からない、他エリアの活動、参加者の思いが分かって良かった。
- ・会があるということを知ってもらうことが課題。どうPRしていくか？
- ・皆さんと、もっとつながって如果能ら。一緒にやっていきたい。

#### ●連絡会開催後

- ・参加者同士で連絡先を交換し、やりとりをするようになった。
- ・顔がわかるようになったことや、それぞれの活動を知ったことで、連携を取りやすくなった。



### 西エリア連絡会

参加団体：武蔵台・北山・西原ささえあいの会/にしふエリアささえ愛の会/住吉・分梅・南町ささえあい協議会/ささえあい四谷

#### ●内容

参加者：1日目17名・2日目20名(同じ内容で2回開催)  
各エリアの主な活動について報告。その後、他エリアに聞いてみたいこと・自分のエリアでやってみたいことについて個人ワーク・グループワークそれぞれで意見を出し、情報交換。

#### ●参加者の感想

- ・自分のエリアではやっていない活動が興味深かった。今後、自分のエリアでも検討してみたい。
- ・活動内容ごとの情報交換の機会があっても良い。
- ・西エリアだけでなく、広域の情報交換が出来ると嬉しい。

#### ●連絡会開催後

- ・定例会で「他のエリアに話を聞いてみよう」「活動を見に行ってみよう」という声が挙がるようになった。
- ・他エリアを参考に、活動の良い点(フードドライブでお礼状を渡す等)を取り入れた。

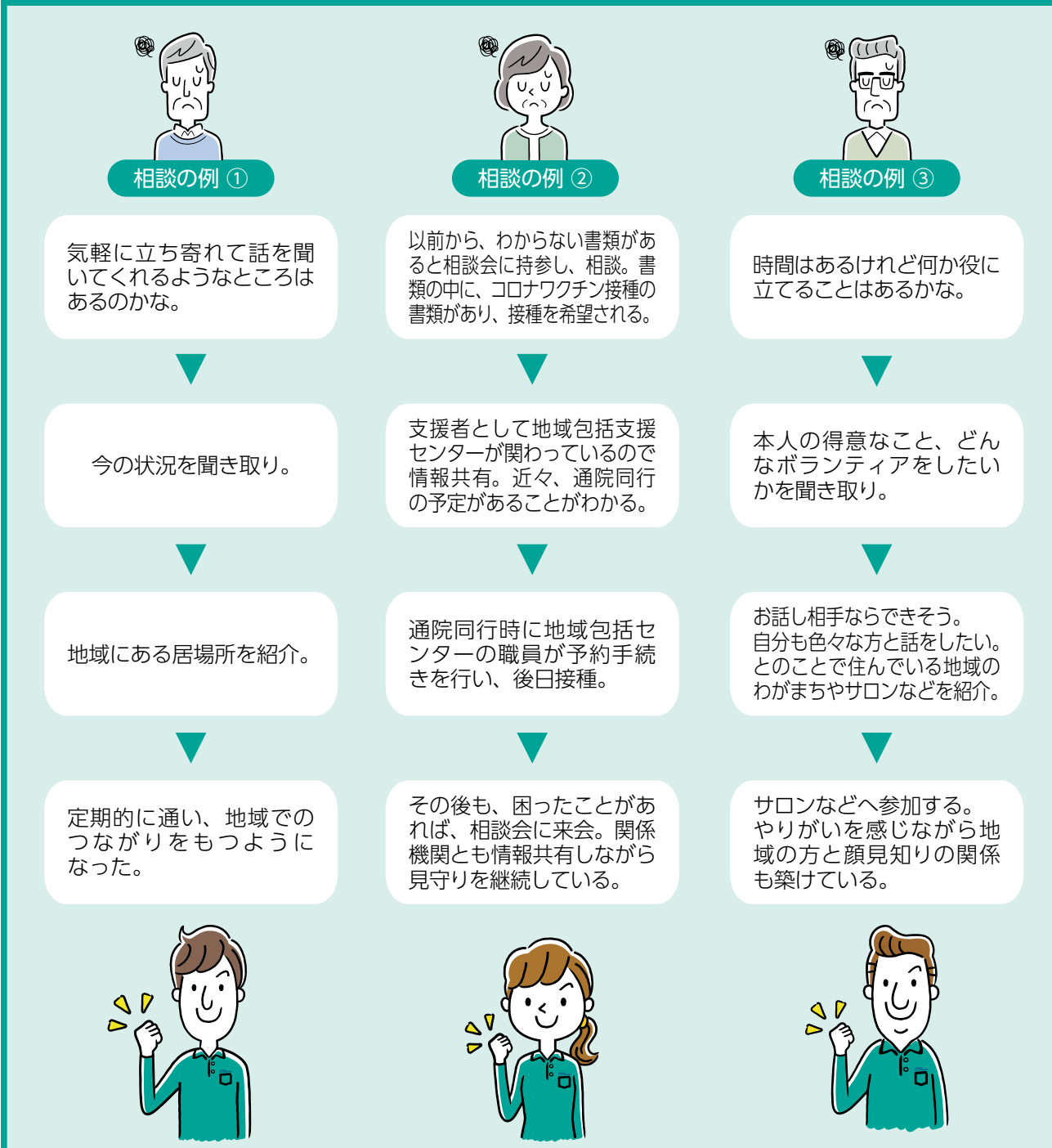


## 困りごと相談会

**概要説明** 身近な地域で、「どこに相談したらいいかわからない」「誰かにきいてほしい」といった、ちょっとした暮らしの心配事などを相談できる場所として「困りごと相談会」を各文化センターで毎週開催している。平成28年11月に押立文化センター圏域と武蔵台文化センター圏域ではじまり、令和3年度からは11か所すべての文化センター圏域において開催。また、令和4年2月からは新町文化センター圏域は週3回に開催日数が増え、今後も各文化センター圏域において回数を増やしていく予定。

**令和3年度 ▶ 困りごと相談会開催実績** 開催回数 547回 相談件数 1380件  
※詳しくは37ページを参照

### 「困りごと相談会」からつながった例の紹介



## 地域なんでも相談員

**概要説明** 「地域なんでも相談員」は、平成28年度から活動しており、地域のちょっとした気になること・心配事などをコーディネーターやわがまちへつなぎ、解決に向けて一緒に考えていく役割を担っている。

### 地域なんでも相談員に関わる活動

#### ●地域なんでも相談員養成研修

年に1回開催。相談員に登録するための研修  
内容) ①地域なんでも相談員の役割 ②一人の困りごとから地域での支えあいを検討する ③地域の「わがまち支えあい協議会」への参加 ④地域なんでも相談員登録の説明

#### ●連絡会

各わがまちが取り組んでいる活動の共有やテーマ学習、相談員同士の日頃の活動の共有や交流等を図ること、相談員としての活動の幅を広げるために行う。

#### ●困りごと相談会

相談対応の研鑽と実践の場として、市内の文化センターで行われる相談会で相談対応をする。

#### ●見守り・声かけ

コーディネーターが関わる地域で孤立しがちな方を対象に、相談員が定期的に見守り・声かけの活動を行う。

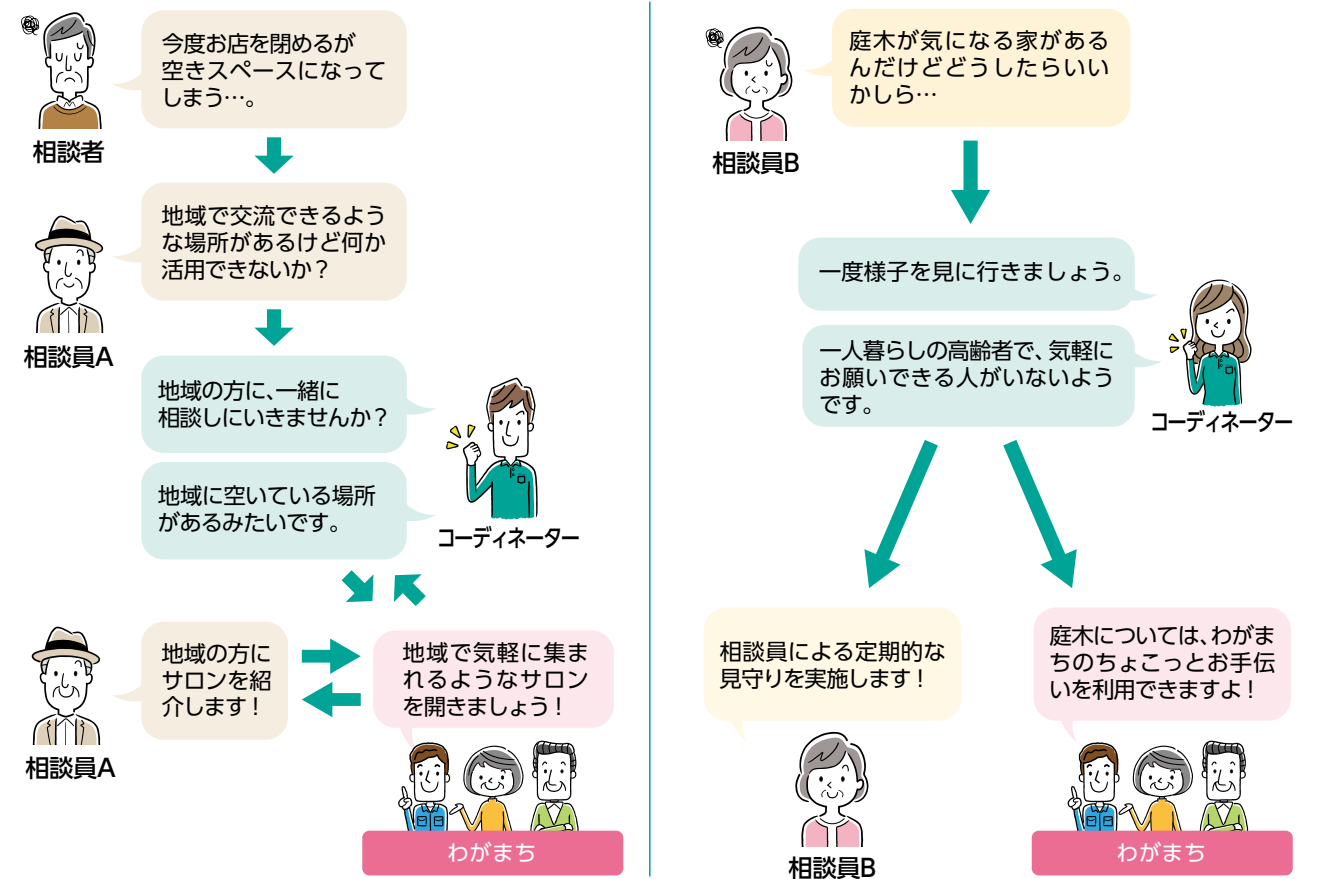
#### ●ふわりまち歩きシート

日常生活の中で気づいた地域の困りごとや、地域資源を記録し、コーディネーターに報告する。



令和3年度 地域なんでも相談員養成研修新規登録者：24名 登録者合計：137名

### 地域なんでも相談員の活動





## 地域のボランティア活動

### ● ボランティア・協力会員入門研修

「ボランティア（無償）」「在宅福祉助け合い事業の協力会員（有償）」として活動をはじめるとあたって必要な基本事項を学ぶ研修会です。

### ● 出張ボランティア教室

福祉教育\*の推進を目的に、市内小中学校や自治会、諸団体等を対象に福祉体験教室を出張で行っています。市内の福祉施設から地域公益活動\*の一環として、ご協力を得ながら実施しています。

### 令和3年度 ▶ ボランティア・協力会員入門研修実績

定期開催：11回 参加者：67名  
臨時開催：11回 参加者：11名

### 令和3年度 ▶ 出張ボランティア教室実績

福祉体験機器の貸出：31回  
その他 手話講師の派遣など：12回  
※新型コロナウイルス感染予防対策のため車いす体験・高齢者疑似体験・ガイドヘルプ体験・点字体験は中止

## 地域の居場所づくり（ふれあいきいきサロンなど）の支援

**概要説明** 地域住民が主体となり、地域の高齢者や障害者（児）、子育て中の親子等を対象に、身近な場所で定期的に地域活動を実施している団体の支援や活動の立ち上げ、運営に関する相談支援を行っています。

### 令和3年度 ▶ 地域の居場所づくり支援実績

サロン連絡会 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため実施なし  
サロン交流会「第10回Let's 地域交流活動！サロンをはじめよう！ひろげよう！」：1回 17名  
サロンマップの会 開催回数：2回  
サロンマップ 掲載団体数73団体



サロン交流会  
「第10回Let's 地域交流活動！サロンをはじめよう！ひろげよう！」



ふれあいきいきサロンマップ

## 資料編



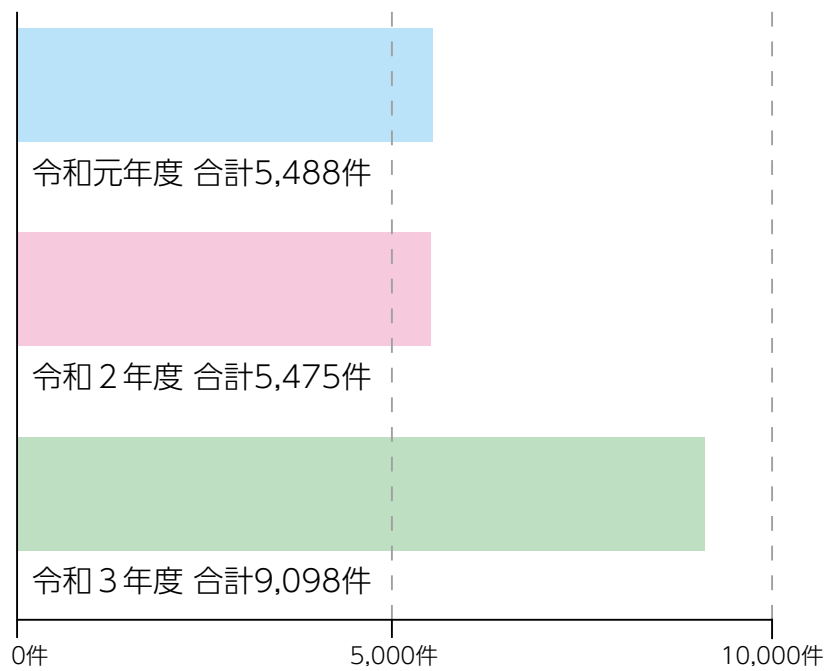


## コーディネーター活動実績 【個別支援】(件)

文化センター圏域	相談経路				相談内容		
	訪問	電話	メール	来所	関係形成	個別支援	連絡調整
紅葉丘	155	400	173	145	50	723	90
白糸台	154	489	17	159	63	609	205
押立	101	333	76	74	80	227	389
是政	172	199	58	156	63	335	179
新町	191	443	127	239	58	541	453
中央	370	879	206	159	19	1,358	246
片町	101	298	9	147	40	442	94
武蔵台	130	434	99	211	41	663	203
西府	78	335	37	86	59	395	135
住吉	146	625	107	199	56	794	280
四谷	38	112	265	68	31	134	330
全域	0	1	1	2	2	3	1
市外・不明	6	68	2	18	6	76	19
計	1,642	4,616	1,177	1,663	568	6,300	2,624
合計	9,098				9,492		

※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加

## 【個別支援】合計の推移グラフ

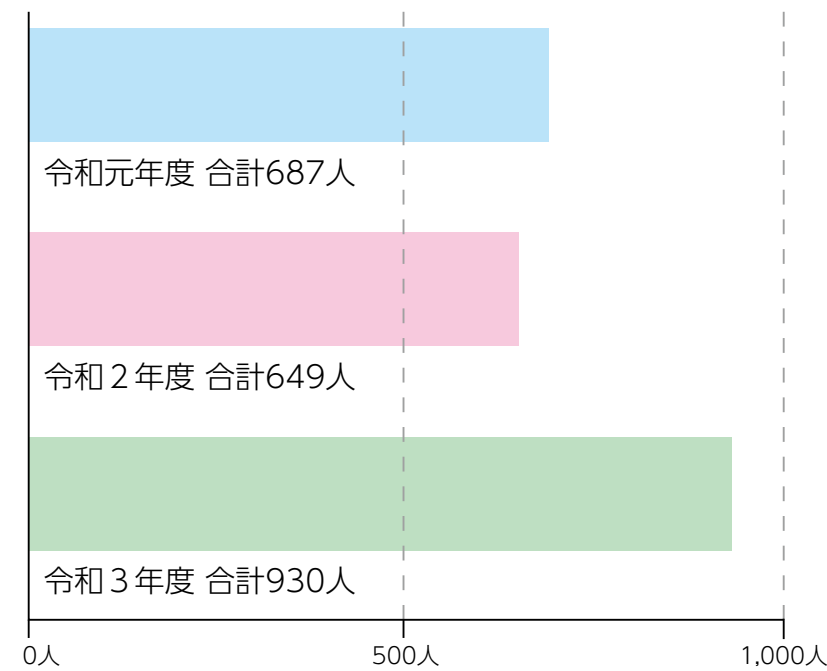


## 実相談者数(人)

文化センター圏域	令和3年度
紅葉丘	69
白糸台	88
押立	55
是政	77
新町	104
中央	91
片町	86
武蔵台	88
西府	59
住吉	141
四谷	69
その他(市外・圏域不明等)	3
合計	930



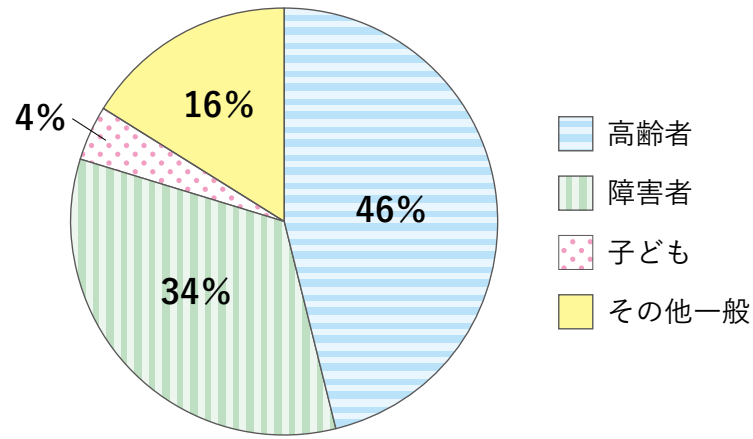
## 相談者実数の推移グラフ



## 相談者分類

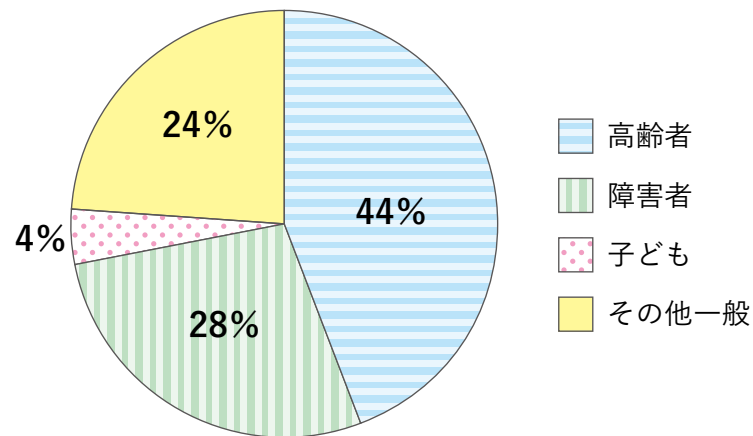
### 令和元年度 (件)

分類	令和元年度
高齢者	1,909
障害者	1,388
子ども	166
その他一般	664
合計	4,127



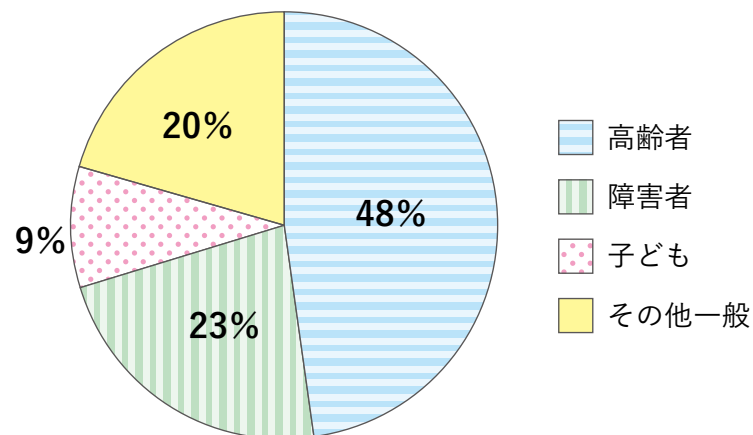
### 令和2年度 (件)

分類	令和2年度
高齢者	1,800
障害者	1,124
子ども	173
その他一般	960
合計	4,057

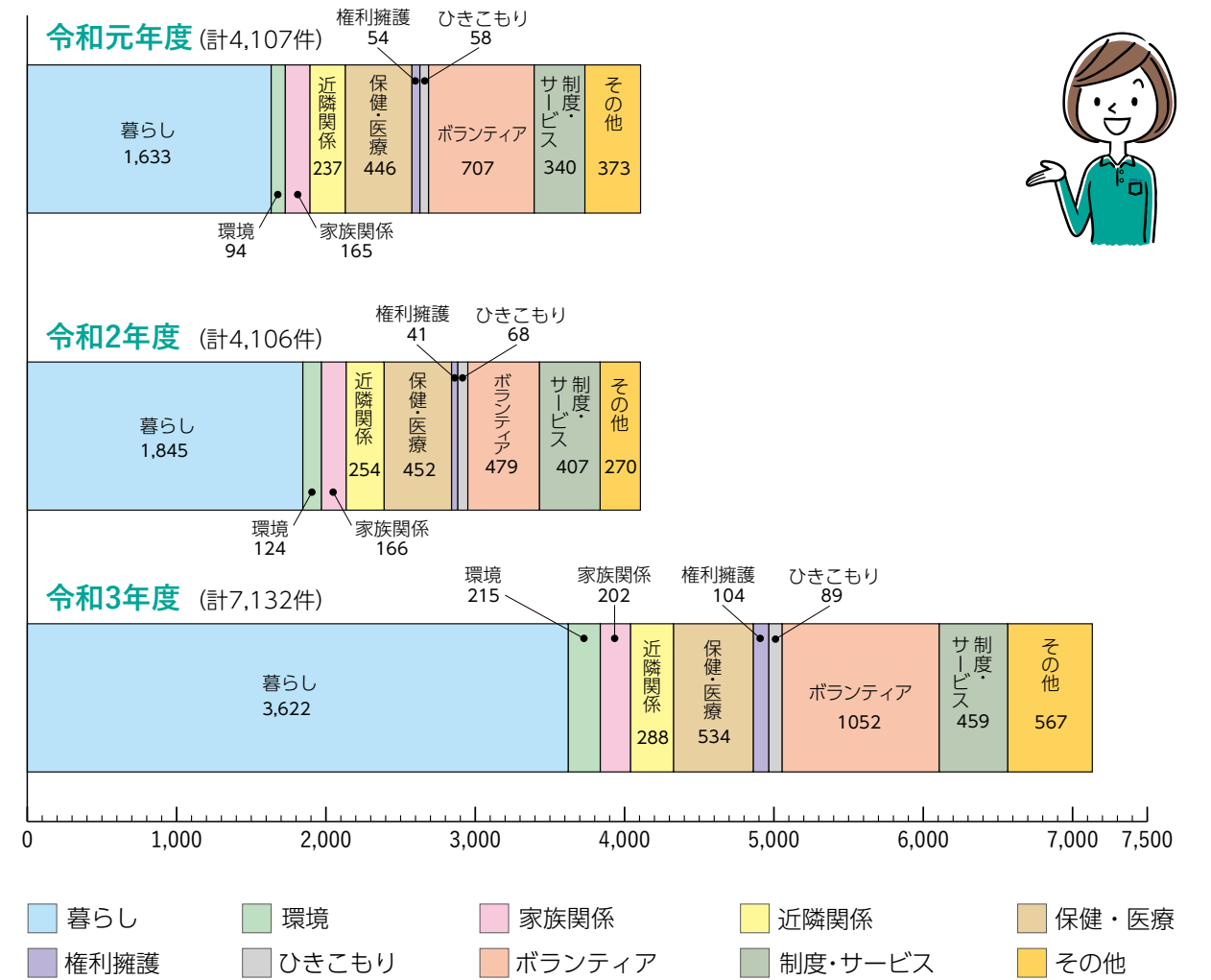


### 令和3年度 (件)

分類	令和3年度
高齢者	2,983
障害者	1,411
子ども	575
その他一般	1,272
合計	6,241



## 相談内容分類



※ 1回の相談で2つ以上の内容が含まれる場合、両方カウント

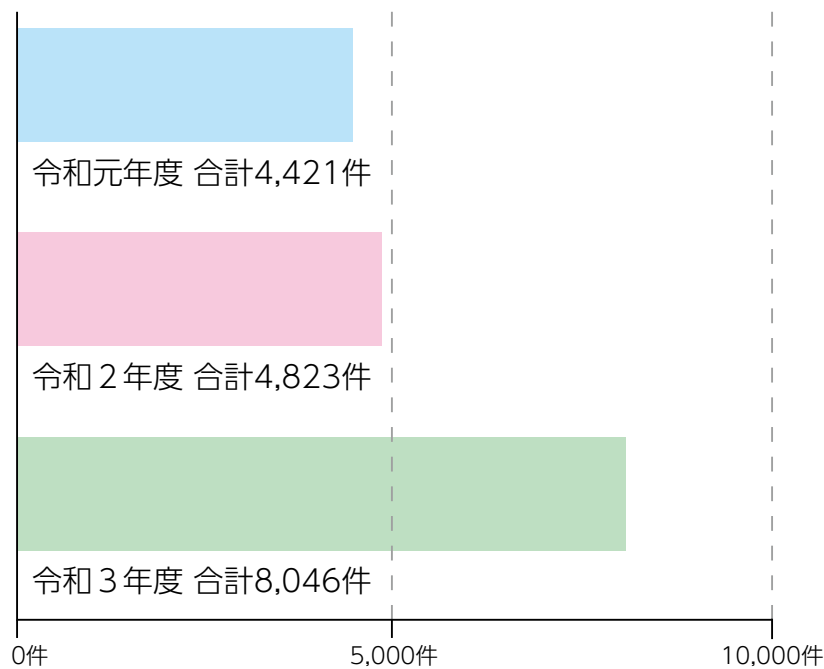
分類	主な相談内容
暮らし	住居(立ち退きなど)、就活、居住保証、金銭問題(管理不十分など)
環境	庭木、片付け、交通事情(危険個所)、ペットの糞尿問題 など
家族関係	子との同居・別居、離婚、不登校 など
近隣関係	ゴミ屋敷、迷惑行為(騒音、徘徊、異臭)、嫌がらせ、子育ての様子、安否が心配 など
保健・医療	体調、病院を変えたい、認知症の疑い など
権利擁護	法律関係、訴訟、相続、財産分与、消費者トラブル など
ひきこもり	ひきこもり(情報提供、関係形成、関わりを持ってほしい、気にかけてほしい)
ボランティア	特技をいかしたい、ボランティアをしたい、ボランティアをしてほしい
制度・サービス	介護保険、おはようふれあい事業など
その他	居場所が欲しい、サロンについて、訪問販売、犬の散歩ができない など

## コーディネーター活動実績【地域支援】(件)

文化センター圏域	相談経路				相談内容			
	訪問	電話	メール	来所	関係形成	立上支援	運営支援	連絡調整
紅葉丘	209	111	450	115	15	1	814	57
白糸台	115	61	325	76	26	2	376	192
押立	142	170	292	53	12	20	447	364
是政	225	67	371	27	21	57	593	23
新町	212	180	103	51	15	16	396	179
中央	176	418	366	124	4	12	939	131
片町	148	144	188	47	5	0	355	168
武蔵台	144	117	197	18	15	0	216	252
西府	134	274	100	34	33	2	218	319
住吉	156	365	171	38	2	0	386	344
四谷	226	324	602	27	8	7	523	666
全域	30	40	54	20	2	3	73	67
市外・不明	1	5	2	1	1	0	6	3
計	1,918	2,276	3,221	631	159	120	5,342	2,765
合計	8,046				8,386			

※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加

## 【地域支援】合計の推移グラフ



## コーディネーターが行った地域支援 (わがまち支えあい協議会)

※コロナの影響で中止の活動あり。  
緊急事態宣言の期間は、令和2年4月7日～5月25日、  
令和3年1月8日～3月21日。

圏域	活動名	実施年度						令和3年度実績			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	回数	活動者	利用者
紅葉丘文化センター	地域まつり出展	-	-	○	○	○	中止	中止	-	-	-
	ありすの手	-	-	-	○	○	○	○	20	22	20
	若杉会への参加	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	てばなす	-	-	-	○	○	○	○	6	17	36
	ポスティング	-	-	-	○	○	○	○	8	18	-
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	8	105	222
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	43	53	141
	若松小登校見守り	-	-	-	-	-	○	○	43	128	-
	ちよこつと	-	-	-	-	-	-	○	7	21	39
	互ちそう会	-	-	-	-	○	中止	○	1	6	7
	学習会	-	-	-	-	-	-	○	1	-	23
	白糸台文化センター	みんなのつどいしらいと	-	○	○	○	○	○	○	7	30
みんなのつどい若松		-	-	-	-	-	-	○	3	9	9
フードドライブ		-	-	-	-	-	-	○	3	3	3
若松小登校見守り		-	-	-	-	-	○	○	43	91	-
ちよこつとお手伝い		-	-	-	-	○	○	○	12	14	12
ちよこつとお手伝い説明会		-	-	-	-	-	-	○	2	9	11
押立文化センター	ちよこつとお手伝い	-	○	○	○	○	○	○	194	197	194
	にこにこカフェ	-	○	○	○	○	○	○	4	20	21
	この指とまれ唄サロン	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
	男の料理教室	-	-	-	○	○	中止	中止	-	-	-
	地域の寺子屋	-	-	-	-	○	○	○	8	55	65
	地域まつり出展	○	○	○	○	○	中止	中止	-	-	-
	押立公園まつり出展	○	○	○	○	○	中止	中止	-	-	-
	地域文化祭出展	○	○	○	○	○	中止	中止	-	-	-
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	11	133	198
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	9	34	25
	南白小下校の見守り	-	-	-	-	-	○	○	41	109	-
	あそぶすばこ	-	-	-	-	-	中止	○	3	6	25
	子どもお楽しみ会	-	-	-	-	-	-	○	2	36	141
	まち歩き	-	-	-	-	-	-	○	2	8	-
	アルファ米お渡し会	-	-	-	-	-	-	○	3	33	33
	スマホ教室	-	-	-	-	-	-	○	1	5	8
	ワクチン接種予約お手伝い	-	-	-	-	-	-	○	2	5	7
	ポスティング	-	-	-	-	-	-	○	7	41	-
	地域ラリー	-	-	-	-	-	○	○	1	14	38
	映画上映会	-	-	-	-	-	-	○	1	7	33
	防災訓練・講座等への協力	-	-	-	○	○	-	○	1	5	20
	防災講座開催	-	-	-	-	○	○	○	1	7	27
	オンラインクリスマス会	-	-	-	-	-	○	○	1	15	83
わがまちカフェ	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	1	2	3	



圏域	活動名	実施年度							令和3年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	回数	活動者	利用者
是政文化センター	あいさつし隊	-	-	○	○	○	中止	中止	-	-	-
	八小登校見守り	-	-	○	○	○	○	○	44	335	-
	散歩会	-	-	-	-	-	-	○	11	133	-
	小柳小登校支援	-	-	-	-	-	-	○	34	35	31
	自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	1	16	9
	シニアクラブ懇談会	-	-	-	-	-	-	○	1	3	21
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	2	12	-
	保育園登園支援	-	-	-	-	-	-	○	4	9	4
	小柳町支え愛の会 ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	86	89	125
	小柳町支え愛の会 ほっとサロンお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	47	92	-
	小柳町支え愛の会 小柳小パトロール	-	-	-	-	○	○	○	76	76	-
	小柳町支え愛の会 自治会イベントのお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	3	13	-
	小柳町支え愛の会 「かじやま」のつどい	-	-	-	-	-	○	○	50	156	123
	小柳町支え愛の会 研修会	-	-	-	-	-	-	○	2	55	-
南町会 PR 活動	-	-	-	-	-	-	○	2	18	-	
新町文化センター	木曜サロン	-	-	-	-	○	中止	○	11	41	101
	栄町金曜サロン	-	-	-	-	○	中止	○	1	7	5
	ふれあいサロンほだほだ	-	-	-	-	○	中止	○	5	10	5
	ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	61	72	61
	第六小学校登校見守り	-	-	-	-	-	-	○	23	192	-
	新町子どもカレー食堂	-	-	-	-	○	中止	-	-	-	-
	新町子どもカレー食堂 フードパントリー協力	-	-	-	-	-	○	○	11	50	-
中央文化センター	ちょこっと支援	-	-	-	○	○	○	○	51	58	51
	よるカフェ・つながり	-	-	-	○	○	○	○	2	10	10
	中央ささえあい談笑会	-	-	-	-	-	-	○	8	40	3
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	9	12	9
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	○	2	50	-
片町文化センター	ささえ愛ぽかぽかサロン	-	-	-	-	○	中止	○	2	23	18
	片文ささえ愛キャラバン	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	-	○	○	60	70	60
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	○	○	6	48	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	7	7	11
	minano フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	3	18	-
フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	2	19	23	
武蔵台文化センター	みんなのひろば北山町	-	-	-	○	○	中止	○	1	6	5
	みんなのひろば武蔵台	-	-	-	○	○	中止	○	1	5	7
	お便り配布	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	47	57	47
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	5	53	108
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	8	49	147

圏域	活動名	実施年度							令和3年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	回数	活動者	利用者
西府文化センター	わがまちサロンにしふらっと!	-	-	-	○	○	○	○	4	36	22
	にしふらっと!お便り配布	-	-	-	-	-	-	○	7	35	189
	ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	17	29	17
	学童クラブ帰宅同行	-	-	-	-	-	-	○	204	485	-
	散歩会	-	-	-	-	-	-	○	1	4	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	19	26	35
	ボランティア説明会	-	-	-	-	-	-	○	3	6	6
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	1	10	4
	だれでもふらっとサロン	-	-	-	○	○	○	○	5	36	51
住吉文化センター	ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	37	63	38
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	3	39	52
	自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	2	11	4
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	○	2	18	-
	ボランティア説明会	-	-	-	-	-	-	○	2	10	12
	おかえり広場保護者説明会	-	-	-	-	○	-	○	1	17	2
	おかえり広場住吉	-	-	-	○	○	○	○	13	136	33
	おかえり広場南町	-	-	-	-	-	○	○	※令和3年度より統合		
	地域まつり出展	-	-	-	○	○	中止	中止	-	-	-
	福祉センターまつり出展	-	-	-	-	○	中止	中止	-	-	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	23	32	96
	菜々のつどい	-	-	-	○	○	中止	○	2	11	23
四谷文化センター	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	○	中止	○	2	4	-
	お便り配付	-	-	-	-	-	○	○	12	24	802
	ゆうやけ四谷	-	-	-	○	○	○	○	136	194	-
	ゆうやけ日新	-	-	-	-	-	○	○	31	34	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	36	82	118
	子どもボランティア体験	-	-	-	-	-	-	○	7	56	56
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	5	46	67
	フリーマーケット	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	シニアクラブ役員会 PR	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	よつや正吉苑イベントお手伝い	-	-	-	-	○	中止	-	-	-	-
ちょこっとお手伝い	-	-	-	-	-	-	○	10	18	8	



## 地域支援を行った団体

### 【生活支援コーディネーター（1層）】

- ・ふれあいいきいきサロン活動 サロンマップの会 サロン交流会
- ・わがまち支えあい協議会定例会
- ・わがまち支えあい協議会東エリア連絡会
- ・わがまち支えあい協議会西エリア連絡会

### 【地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター（2層）】

- ・わがまち支えあい協議会定例会
- ・新町子どもカレー食堂運営支援(フードパントリー)
- ・ひがしふちゅう駅前こども食堂運営支援
- ・クラブリムザ運営委員会
- ・クラブリムザ防災訓練
- ・すくすく入学ラウンジ「就学相談会」
- ・グレイスキッチン子ども食堂パントリー
- ・府中東高等学校生徒会ボランティア
- ・府中東高等学校防災訓練
- ・府中高等学校防災訓練
- ・車返団地1街区よろず相談サロン
- ・フードバンク府中協定締結
- ・府中市立第2中学校職業人ワークショップ
- ・わがまち支えあい協議会東エリア連絡会
- ・わがまち支えあい協議会西エリア連絡会
- ・若松小学校校外学習PTA連絡会
- ・東京外国語大学卒論研究
- ・あなたの食堂運営支援
- ・府中第八中学校における防災講演会
- ・にっころ食堂運営支援
- ・四谷自治会避難訓練
- ・無印良品フードドライブ
- ・たちばなヨガ
- ・さくらコマース福祉体験

## 助成金交付件数

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域交流サロン活動	15	3	20
その他の地域福祉活動	8	4	18
福祉関係団体	6	6	6
わがまち支えあい協議会	3	5	11

## 出張ボランティア実施回数

(回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
車いす体験	30	0	0
高齢者疑似体験	7	0	0
ガイドヘルプ体験	11	0	0
点字体験	8	0	1
手話体験	5	3	6
福祉講話	2	0	0
HUG(避難所運営ゲーム)	2	0	0
視覚障害者講演	3	2	2
聴覚障害者講演	0	0	1
合計	68	5	10

福祉体験機器の貸出：31回

その他 車いす貸出の外部委託、関係者への事前説明等：2回

※令和3年度は新型コロナウイルス感染対策の関係で各種体験の直接実施はせず、機器の貸出に切り替え



## 困りごと相談会対応件数

文化センター圏域	開催回数	延べ相談件数	相談実人数
紅葉丘文化センター	40	141	35
白糸台文化センター	48	201	55
押立文化センター	49	120	38
是政文化センター	48	93	17
新町文化センター	48	154	41
新町（※増設分）	40	63	17
中央文化センター	38	76	50
片町文化センター	48	113	41
武蔵台文化センター	49	126	40
西府文化センター	44	70	29
住吉文化センター	46	175	40
四谷文化センター	49	48	26
合計	547	1,380	429

※令和4年2月より、新町文化センターのみ、週3回、終日実施へ増設



## 外部会議等への出席状況

### 生活支援コーディネーター（1層）

- ・府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会
- ・自立支援ケア会議（東部地区）事前会議 終了会議  
（西部地区）事前会議 終了会議  
（中部地区）事前会議
- ・短期集中予防教室（サービスc）社会参加説明
- ・フレイル予防講習会（全包括支援センター開催）
- ・府中市在宅医療・介護連携会議(全体会)  
同上認知症部会  
同上部会長会議
- ・府中市地域支援ネットワーク関係者連絡会
- ・府中市介護予防事業検討会議
- ・介護予防コーディネーター作業部会
- ・みんチャレ定例会
- ・府中市地域リハビリテーション活動支援検討会議
- ・生活支援体制整備事業運営アドバイザー派遣ヒアリング
- ・認知症キャラバンメイト連絡会



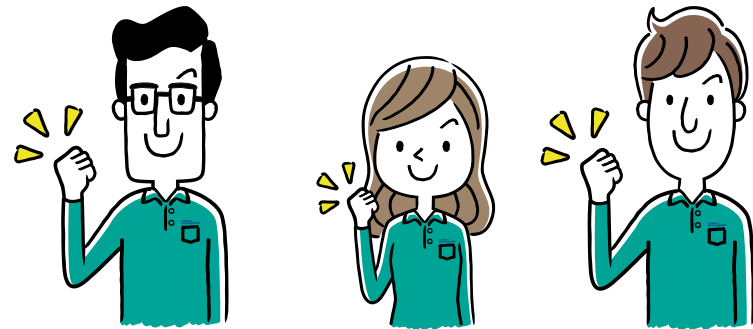
### 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター（2層）

- ・府中市民生委員児童委員協議会（地区協議会）
- ・高齢者地域支援連絡会（地域包括支援センター）
- ・児童青少年課との情報交換
- ・小規模多機能居宅介護ケアホームこまつ運営会議
- ・小規模多機能居宅介護車返団地コラボケアセンター運営推進会議
- ・車返団地デイサービスセンター・スカイ運営推進会議
- ・小規模多機能居宅介護よつや正吉苑運営推進会議
- ・子ども家庭支援センターたち運営会議
- ・子ども家庭支援センターしらとり運営会議
- ・あさひ苑高齢者在宅サービスセンター運営推進会議
- ・グループホームはなまるホーム運営推進会議
- ・府中市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- ・府中市自殺対策関係者連絡会分科会
- ・府中市自殺対策関係者連絡会
- ・困窮者支援連絡会つながりPlus
- ・府中市子ども・子育て審議会
- ・地域子ども・子育て応援連絡会
- ・新任民生委員事務説明
- ・北多摩南部ブロック社協 地域福祉コーディネーター担当者会議
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム連絡会議
- ・杉並区社会福祉協議会地域支援相談
- ・三鷹市社会福祉協議会地域支援相談
- ・清瀬市地域福祉活動計画策定委員会
- ・府中市広報課まると府中放映
- ・居住支援セミナー
- ・支援対象児童等見守り強化事業連絡会
- ・障害者等地域自立支援協議会懇話



## 外部研修等への出席状況

- ・生活支援体制整備事業にかかる情報交換会（東京都）
- ・生活支援コーディネーター初任者研修（東社協）
- ・生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ（東社協）
- ・生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ（東社協）
- ・認知症地域支援推進員(新任者)研修
- ・生活支援コーディネーター居場所づくりつながりづくり研修
- ・区市町村社協地域福祉コーディネーター養成研修<基礎研修編>（東社協/オンライン）
- ・区市町村社協地域福コーディネーター養成研修 実践報告登壇
- ・区市町村社協地域福祉コーディネーター養成研修<実践研修編>（東社協/オンライン）
- ・生活支援体制整備事業に係る情報交換（東京都）
- ・区町村社会福祉協議会新任研修（東社協/オンライン）
- ・区市町村苦情対応機関専門研修（福祉サービス運営適正化委員会/オンライン）
- ・認知症地域支援推進員（新任者）研修（認知症介護研究・研修東京センター/オンライン）
- ・地域公益活動推進協議会研修（東社協/オンライン）
- ・地域公益活動推進協議会区市町村ネットワーク代表者連絡会（東社協/オンライン）
- ・「地域共生社会」多様な参加支援をテーマにしたオンライン報告会（厚労省/オンライン）
- ・東京都における子ども達の居場所づくり支援に向けた情報交換会
- ・生活支援コーディネーター居場所づくりつながりづくり研修（全国食支援活動協力会）
- ・厚生労働省主催のひきこもり支援イベント「ひきこもりVOICE STATION」（オンライン）
- ・ひきこもりサポートネット活動報告会



## 用語解説 ①

	用語	解説
あ	インフォーマルサービス	家族、親族や友人、地域住民、NPO法人やボランティアなどによる非公式な支援。
	運営支援	わがまち、地域団体、グループ、サロンが立ち上がった後の運営支援。
か	ガイドヘルプ	一人では外出できない視覚障害者に付き添って歩行の介助や誘導をする活動。
	関係形成	地域住民、団体、グループ、当事者との関係づくりのための訪問・連絡調整。
	協力者説明会	地域福祉活動に興味関心のある住民に向けて行う事業説明をする場。
	権利擁護センター	認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な人に対して、日常生活や金銭管理で困っていることに対して、相談支援や金銭管理サービスを行います。（健康長寿ネットホームページより）
	子ども家庭支援センター	18歳未満のお子さんや子育て家庭のあらゆる相談に応じるほか、ショートステイや一時預かりなど在宅サービスの提供やケース援助、サークル支援やボランティア育成等を行っています。（東京都保健福祉局ホームページより）
	困りごと相談会	身近な地域で、「どこに相談したらいいかわからない」「誰かに聞いてほしい」といった、ちょっとした暮らしの心配事などを、相談できる場所として市内11カ所の文化センターで開催している。
	ご近助会	社会福祉法人正吉福祉会よつや苑、介護老人保健施設ウイング、デイサービスりんりん、グループホームみんなの家、総合在宅支援センターいぶきの5団体が構成され、ささえあい四谷に協力する地域活動団体。
さ	在宅福祉助け合い事業	当協議会が実施する、おおむね60歳以上の方や障がいのある方が、地域で安心して暮らせるように、市民相互の助け合いにより家事や介護等の援助を提供することで、生活を支えていく事業。
	サロン	地域の高齢者や住民が気軽に集まることで、見守りや閉じこもりの防止、また仲間づくりや社会参加を目的として行われる。（全国社会福祉協議会ホームページより）
	若年性認知症	従来から言われてきた40歳から64歳に発症した初老期認知症に、18歳から39歳までに発症した若年期認知症を加えた認知症の総称。（健康長寿ネットホームページより）
	若年性認知症総合支援センター	専門の若年性認知症支援コーディネーターが、ご本人やご家族から多岐にわたる相談に対し、ワンストップで対応します。また、地域包括支援センターや医療機関等の専門機関からの相談については、必要な助言を行うとともに、相互に連携しながら若年性認知症の人への支援を行います。「東京都若年性認知症総合支援センター」と、「東京都多摩若年性認知症総合支援センター」の2か所のセンターがあります。（東京都保健福祉局ホームページより）
	小地域懇談会	地域住民や関係団体が誰でも参加でき、地域の生活課題を共有する場。
	成年後見制度	認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度。（府中市ホームページより）
た	地域公益活動	すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金を、福祉サービスを積極的に提供しよう努めなければならない」という責務が課されており、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われています。（社会福祉法第24条第2項より）

## 用語解説 ②

	用語	解説
た	地域なんでも相談員	地域のちょっとした気になること・心配事を、地域福祉コーディネーターやわがまち支えあい協議会へつなぎ、課題を共有し、解決に向けて一緒に考えていく役割。また、地域で孤立しがちな方を対象に、状況変化などによる課題を早期に発見し、円滑な支援につながるよう、定期的に訪問し、見守り・声掛けをする役割も担っている。
	地域なんでも相談員養成研修	年1回開催している「地域なんでも相談員」の養成講座。研修は座学やワーク、地域活動への体験参加等を通して相談員として地域で活動するスキルを学ぶ、全4日間のプログラムになっている。
	地域福祉活動計画	住民主体の福祉のまちづくりを実践するため、地域住民が直面しているさまざまな生活課題・福祉課題の解決に向けた民間の活動目標を示すもの。
	地域包括支援センター	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う中核機関として設置。市町村は責任主体。(厚生労働省ホームページより)
	定例会	わがまち支えあい協議会で、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、共有し、一緒に解決して行くしくみづくりのために、概ね月に1回文化センターにて集まって行う会議。
	点訳	墨字の文章を点字にすること。点字訳。
	東京オレンヂ	特定非営利活動法人 インクルージョンセンター東京オレンヂ 生活困窮者及び高齢者等に対し、就労支援、居住支援、生活支援等、生活環境の向上や当事者の自立を支援する事業を行い、もって社会福祉の増進に寄与することを目的とした法人。
な	ニーズ	欲求、要求、需要。
は	ハイブリッド方式	二つの異なる仕組みや技術を組み合わせた方式。集合型の会議とインターネットを活用した会議とを融合した会議。
	フォーマルサービス	公的機関が行う制度に基づいた社会福祉サービス。
	福祉教育	平和と人権を基盤にした市民社会の担い手として、社会福祉について協同で学びあい、地域における共生の文化を創造する総合的な活動。
	フレイル予防講習会	加齢に伴い、心身の活力が低下した状態をいう「フレイル」を予防することを目的に、必要な運動と社会参加の方法、栄養・口腔機能について学ぶことができる講習会。
	文化センター	文化センターは、市役所の窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館が併設された複合施設。(府中市ホームページより)
	ボランティアセンター	ボランティア活動を始めたい方やボランティアの助けを必要としている方からの相談を受け付けています。また、各種ボランティア講座の開催、ボランティアについての情報提供、ボランティアグループ・団体・NPOとの協働・支援も行っております。災害時には府中市との協定に基づき、被災地のボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる「府中市災害ボランティアセンター」が設置されます。
ら	ロス食品	本来食べられるのに捨てられてしまう食品をいう。食べ物を捨てることはもったいないことで、環境にも悪い影響を与えてしまう。(農林水産省ホームページより)
	連絡調整	本人、関係機関との連絡調整、簡単なやりとり。





地域福祉コーディネーター  
生活支援コーディネーター  
令和3年度活動報告書

府中市社会福祉協議会

令和4年12月 発行

発行者：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

〒183-0055 府中市府中町 1-30 ふれあい会館内

電話：042-364-5382 FAX：042-362-9090

ホームページ：http://www.fsyakyo.or.jp/

メール：fuwari@fsyakyo.or.jp



2次元コードから  
ホームページへ  
移動できます

